
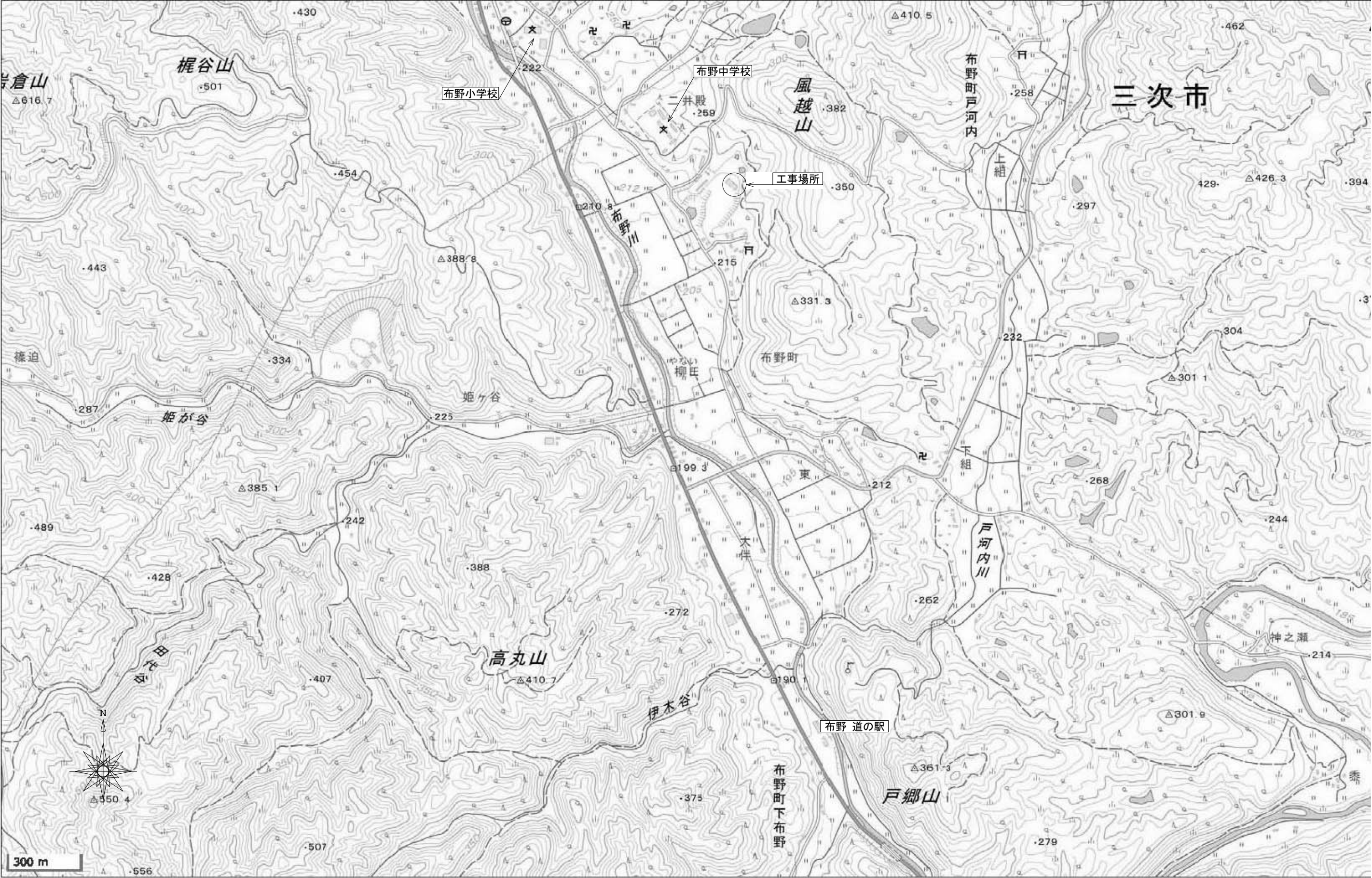


布野運動公園トイレ改修工事

三 次 市

佐伯建築設計事務所

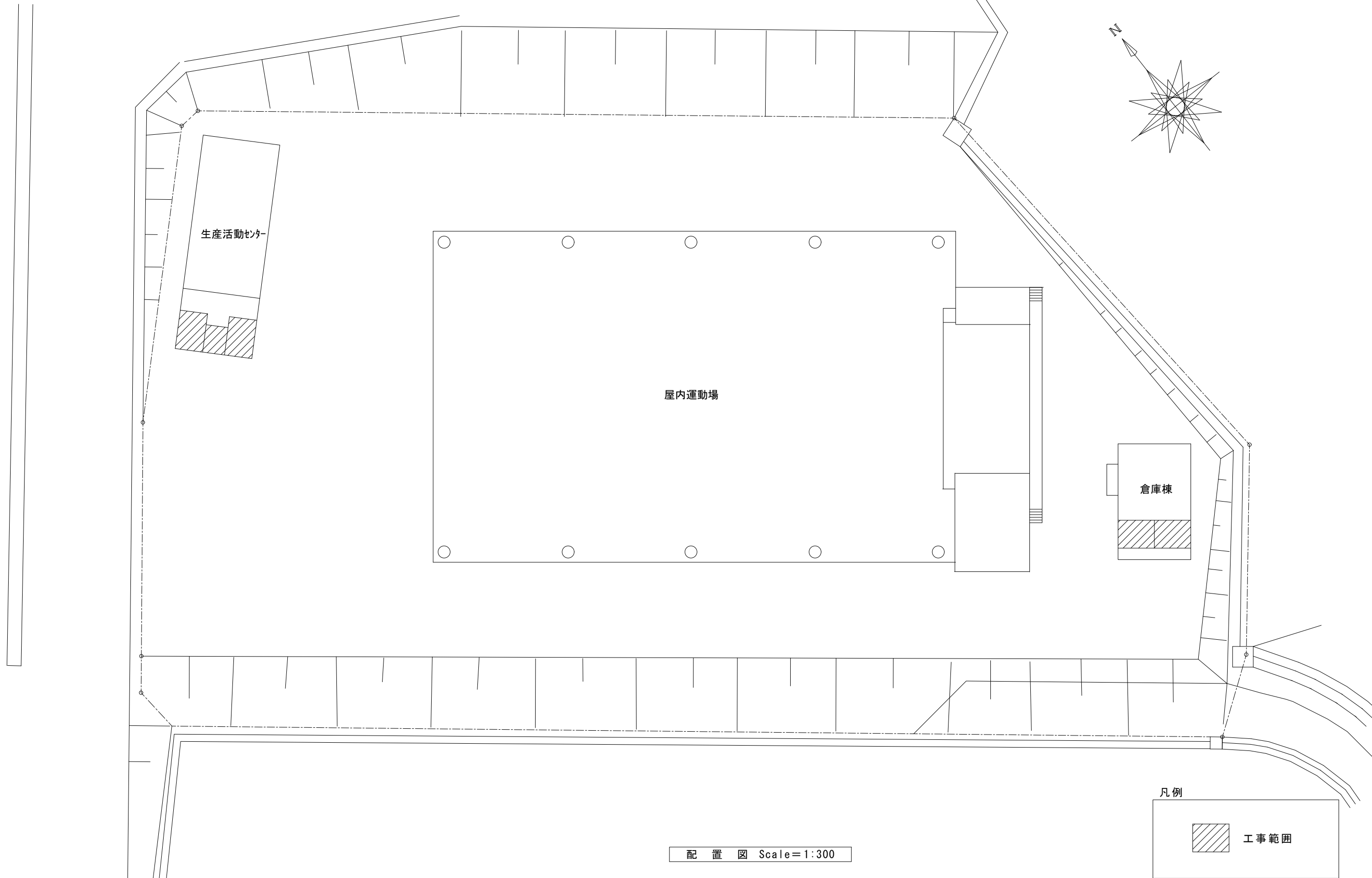
		一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号 佐伯建築設計事務所	一級建築士 建設大臣 第223265号 佐 伯 晃 志 郎	<div>・構造設計</div> <div>・設備設計</div>	工 事 名 称 布野運動公園トイレ改修工事	図 面 名 称	縮 尺
--	---	---	----------------------------------	-----------------------------------	--------------------------	---------	--------



国土地理院地図 _ GS1 Maps

附近見取図 Scale=1:15,000

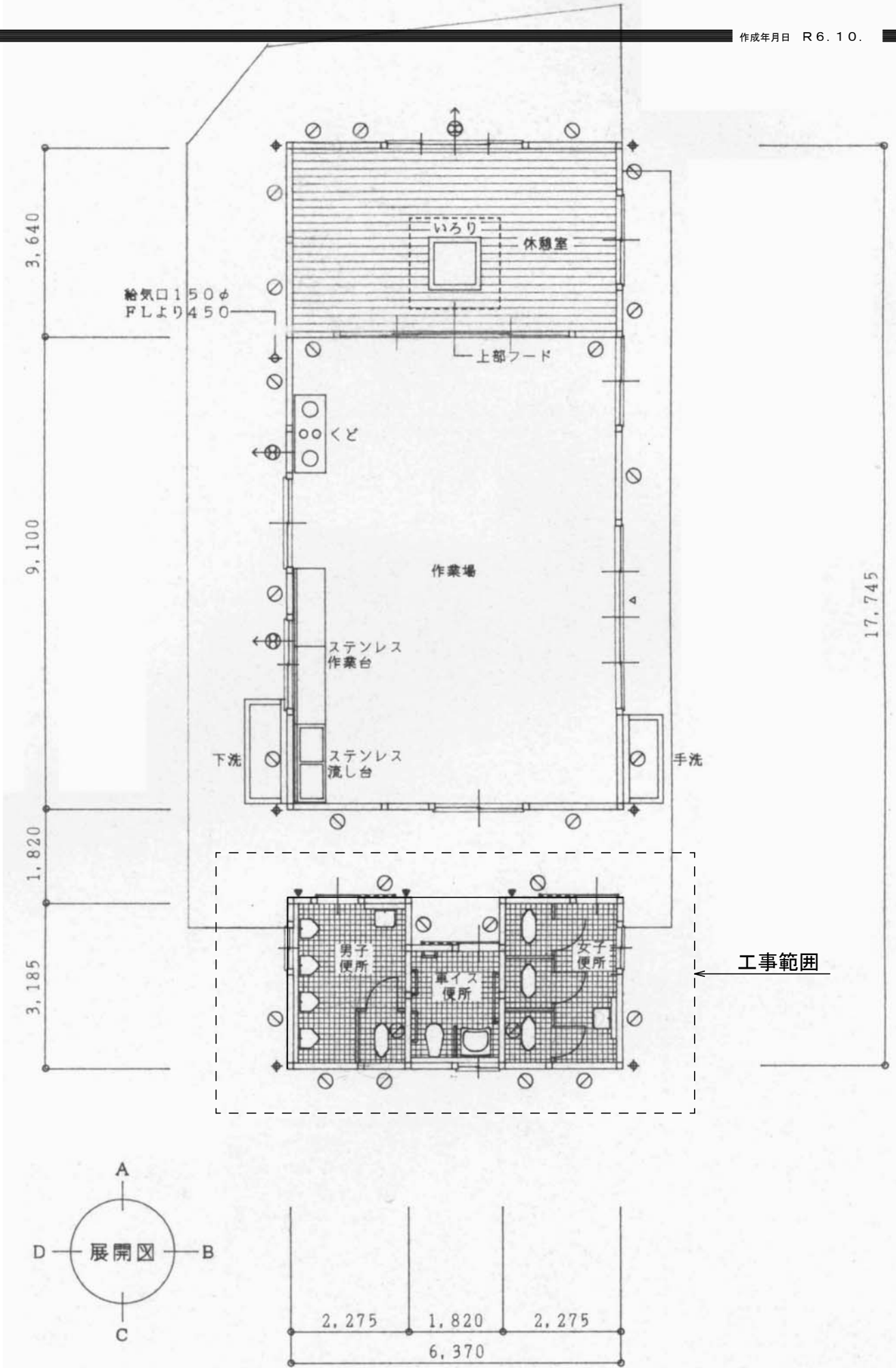
	<div><div><div></div></div><div>一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号</div><div>佐伯建築設計事務所</div></div>	<div>一級建築士 建設大臣 第223265号</div> <div>佐伯晃志郎</div>	<div>・構造設計</div> <div>・設備設計</div>	<div>工事名称</div> <div>布野運動公園トイレ改修工事</div>	<div>図面名称</div> <div>附近見取図</div>	<div>縮尺</div> <div>1:300</div>
--	---	---	-----------------------------------	--	----------------------------------	--------------------------------

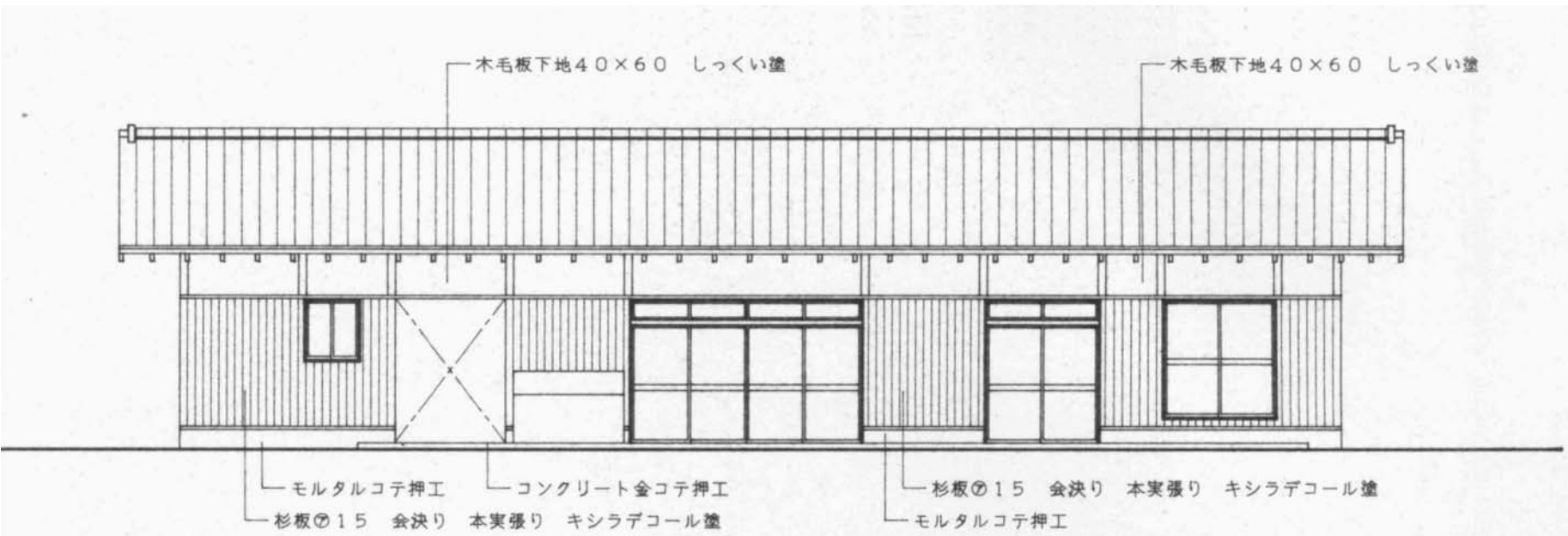


概要

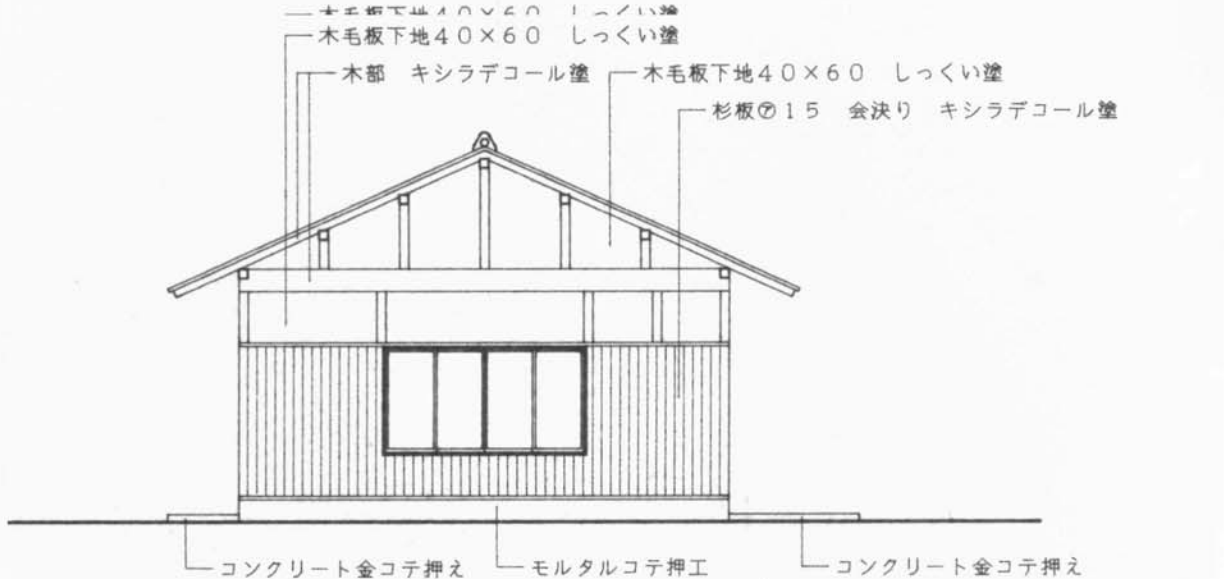
- 和式便器を洋式便器に改修
- 既設トイレブース撤去、新設
- 照明器具 LED照明に改修
- 衛生給排水設備改修（詳細は設備図による）
- 改修にかかる部分の床磁器タイル（50x50）撤去、新設

※ 施工に当たっては施工図により係り員の承諾を得ること

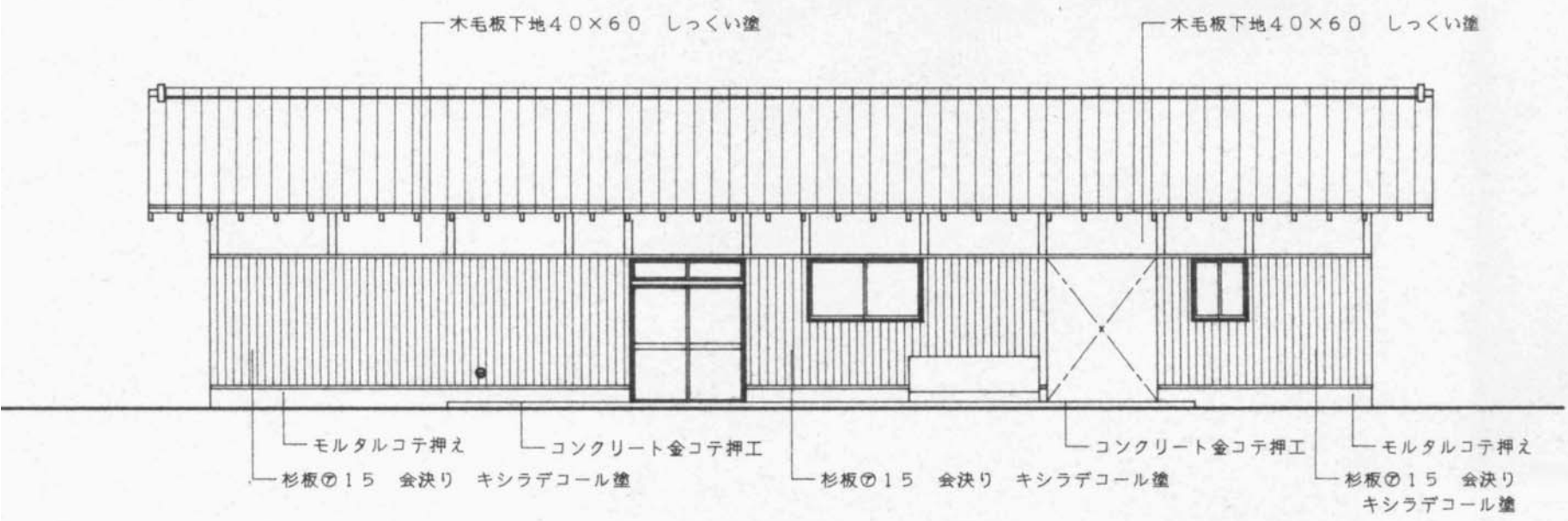




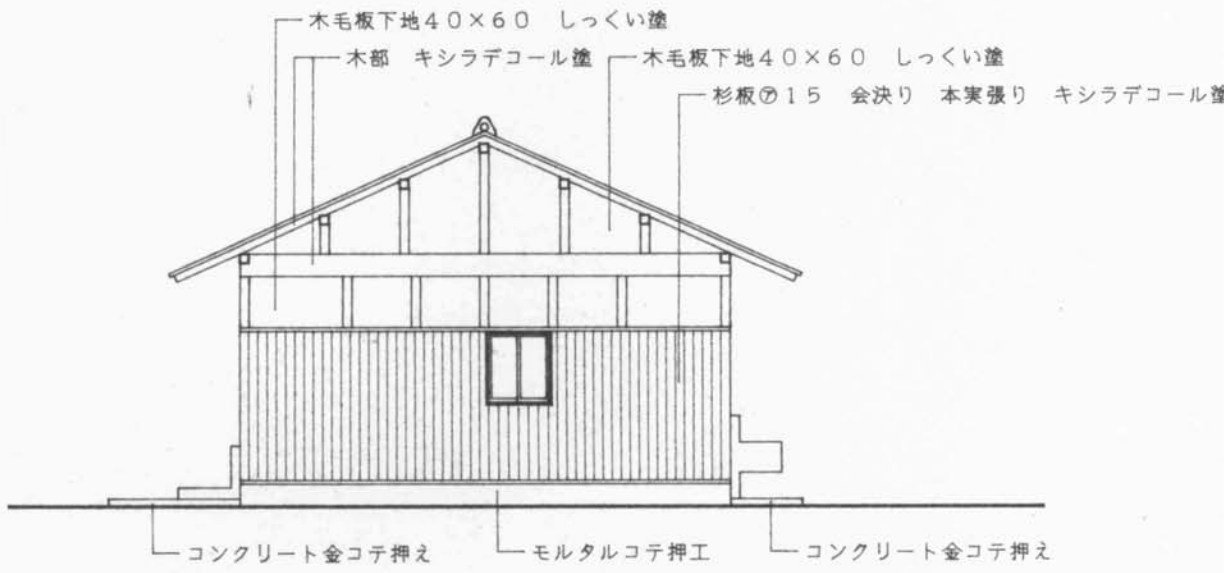
東側立面図 Scale=1:100



北側立面図 Scale=1:100

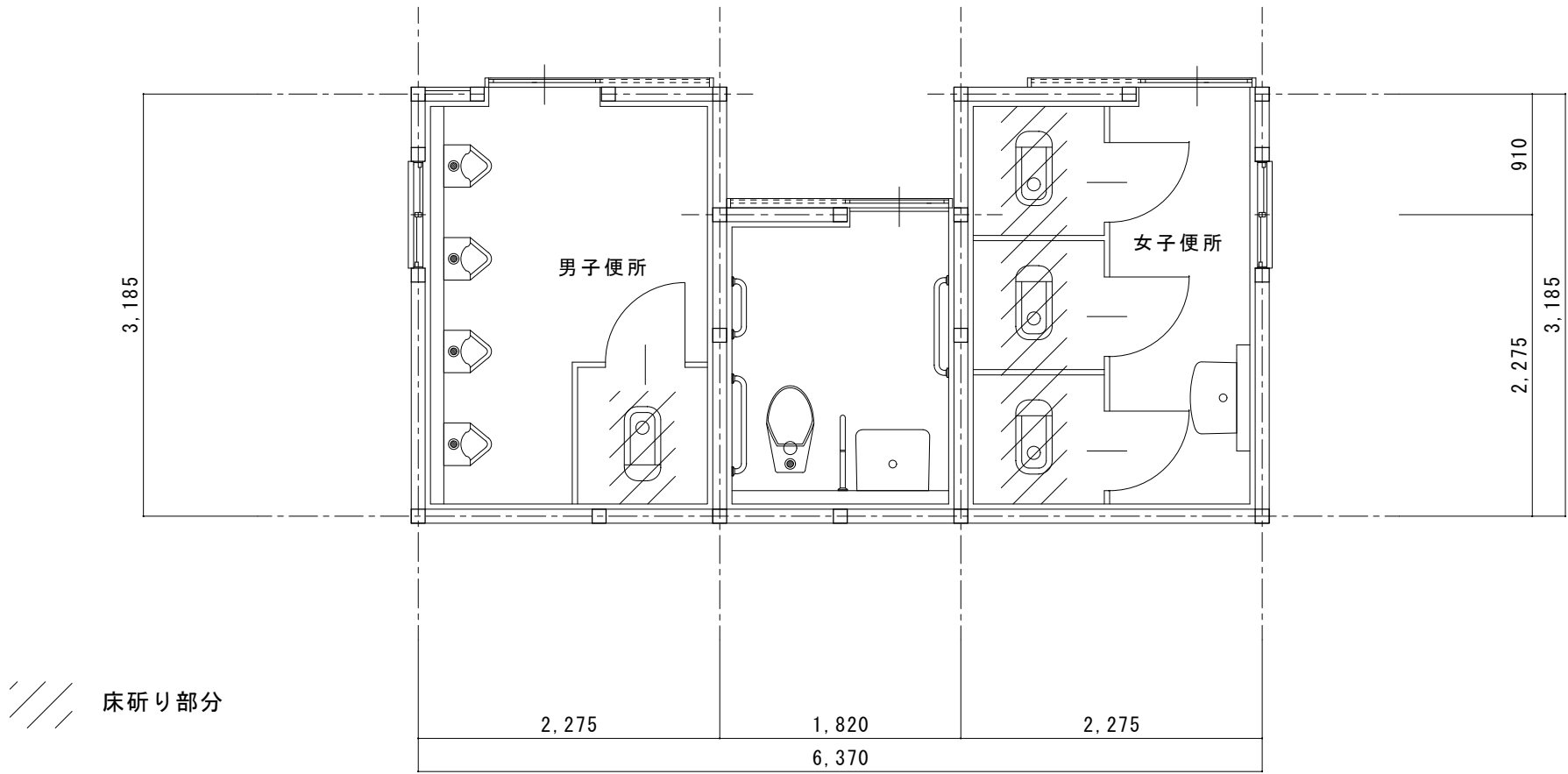


西側立面図 Scale=1:100



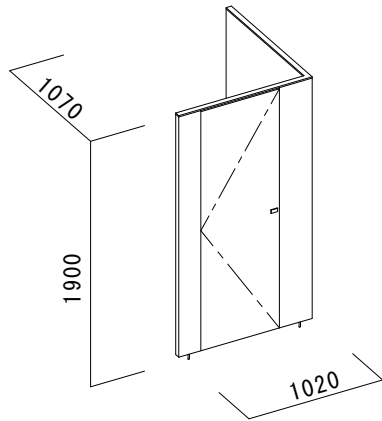
南側立面図 Scale=1:100

内部仕上	
床	50x50 磁器質タイル
腰壁	100x100 タイル
壁	漆喰
天井	
備考 床斫り部分はコンクリートfc180 打設の上 同材 (50x50 磁器質タイル) にて仕上げる	

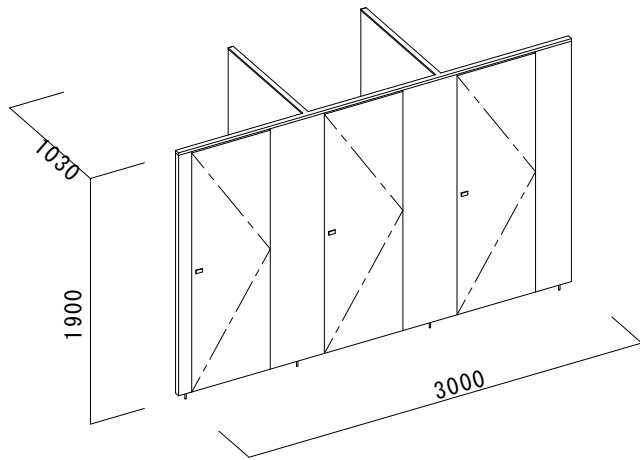


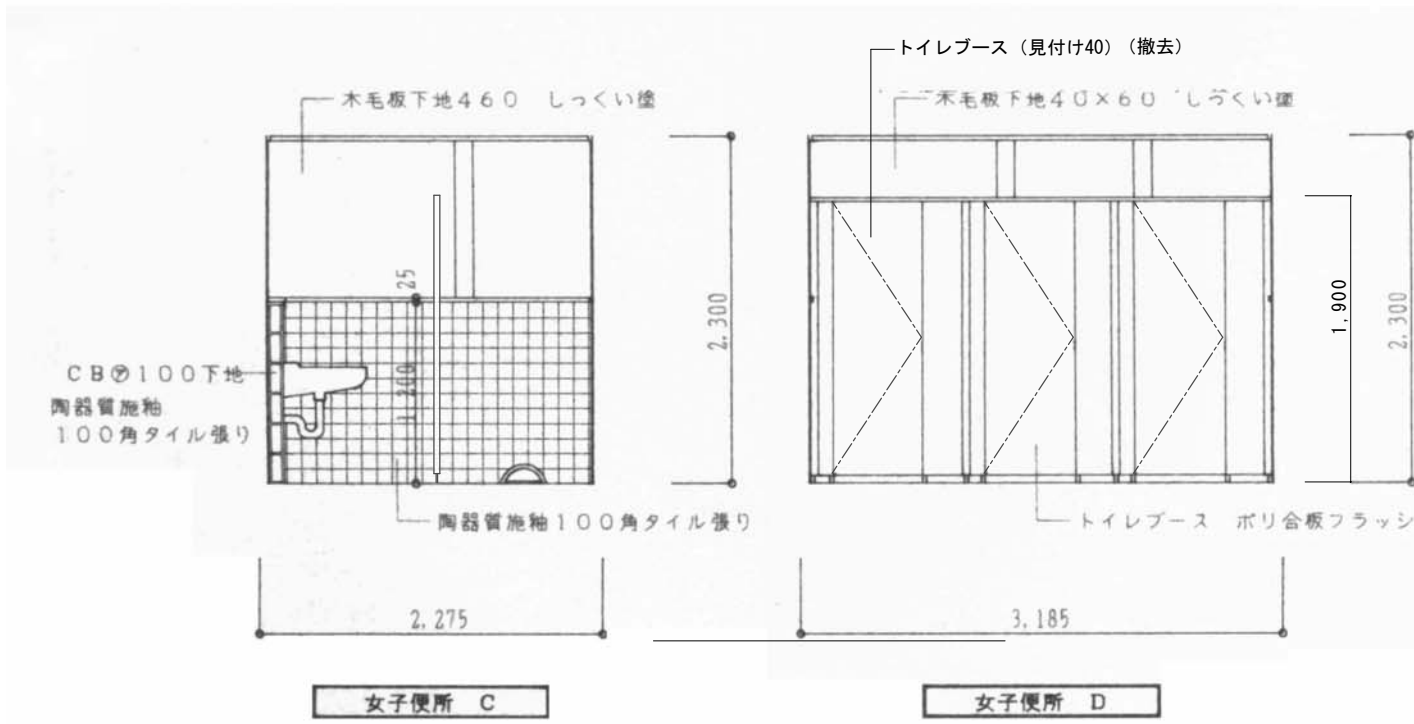
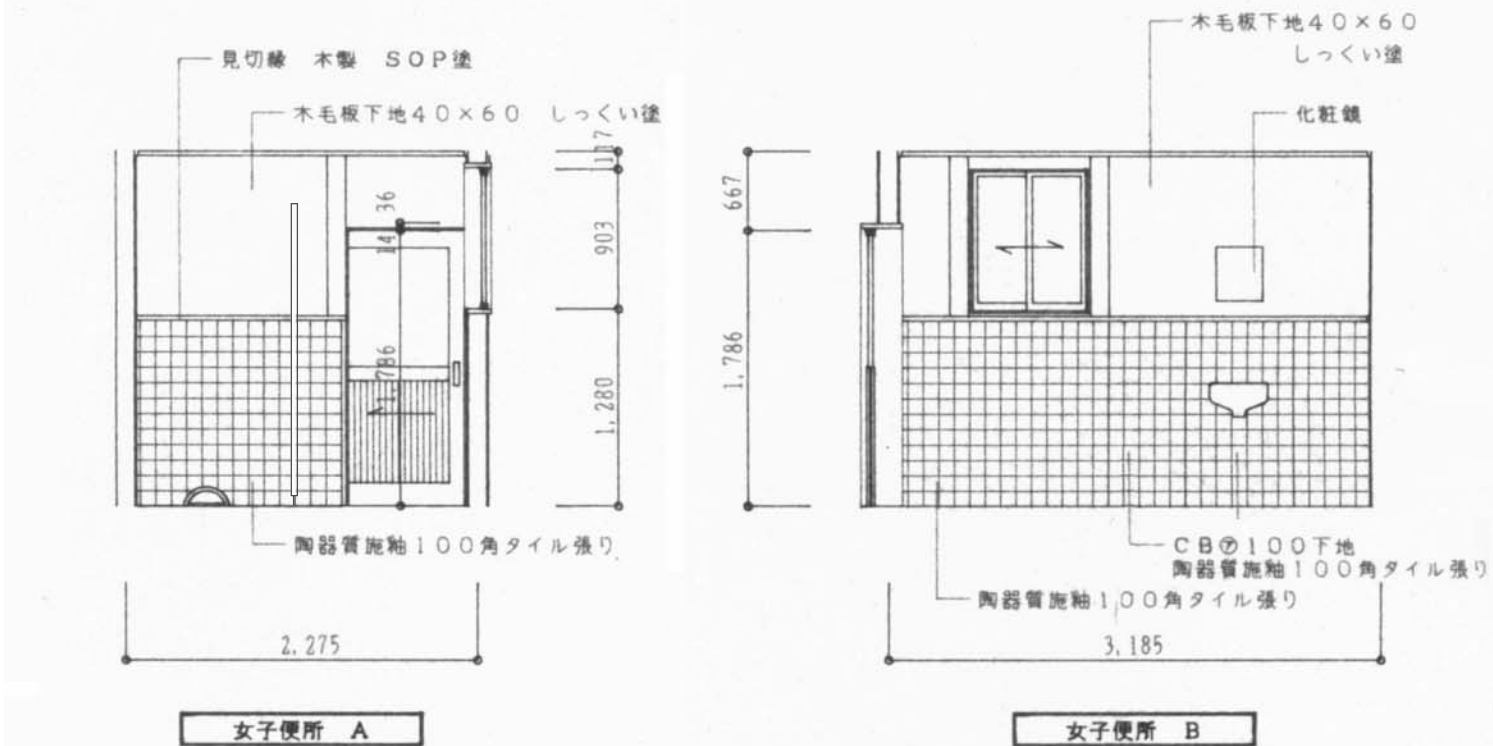
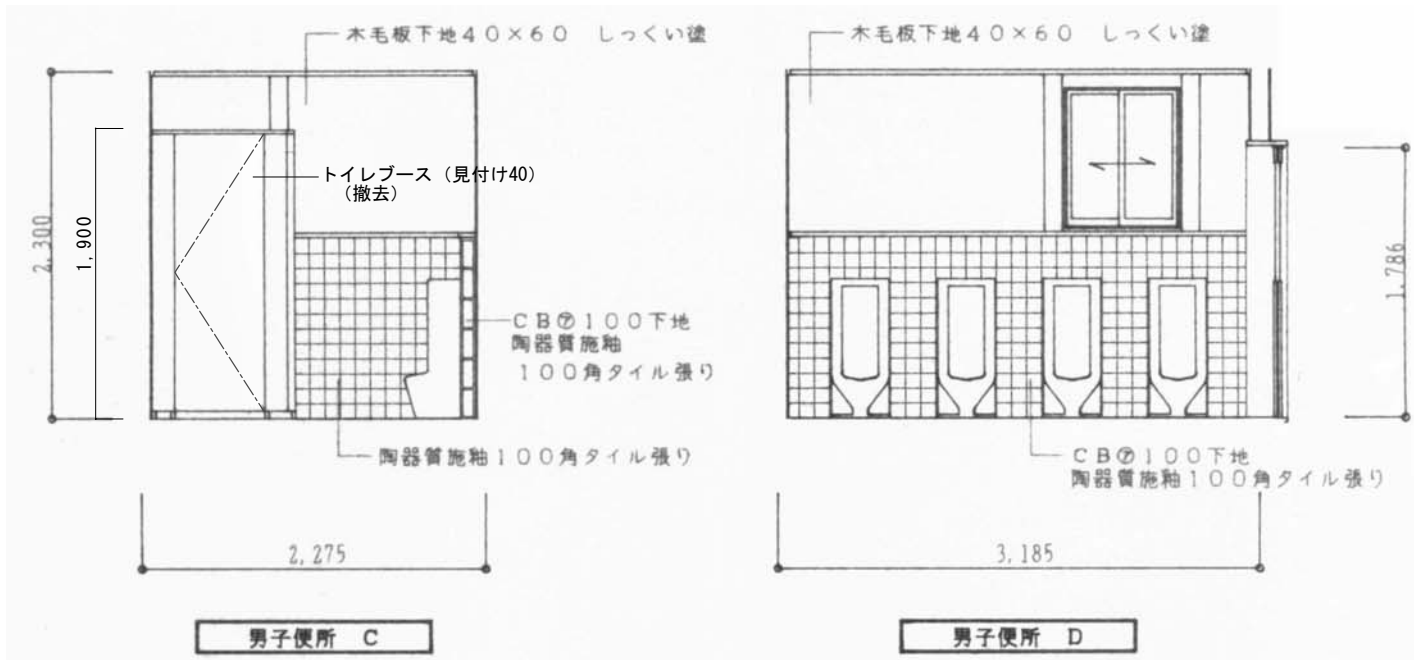
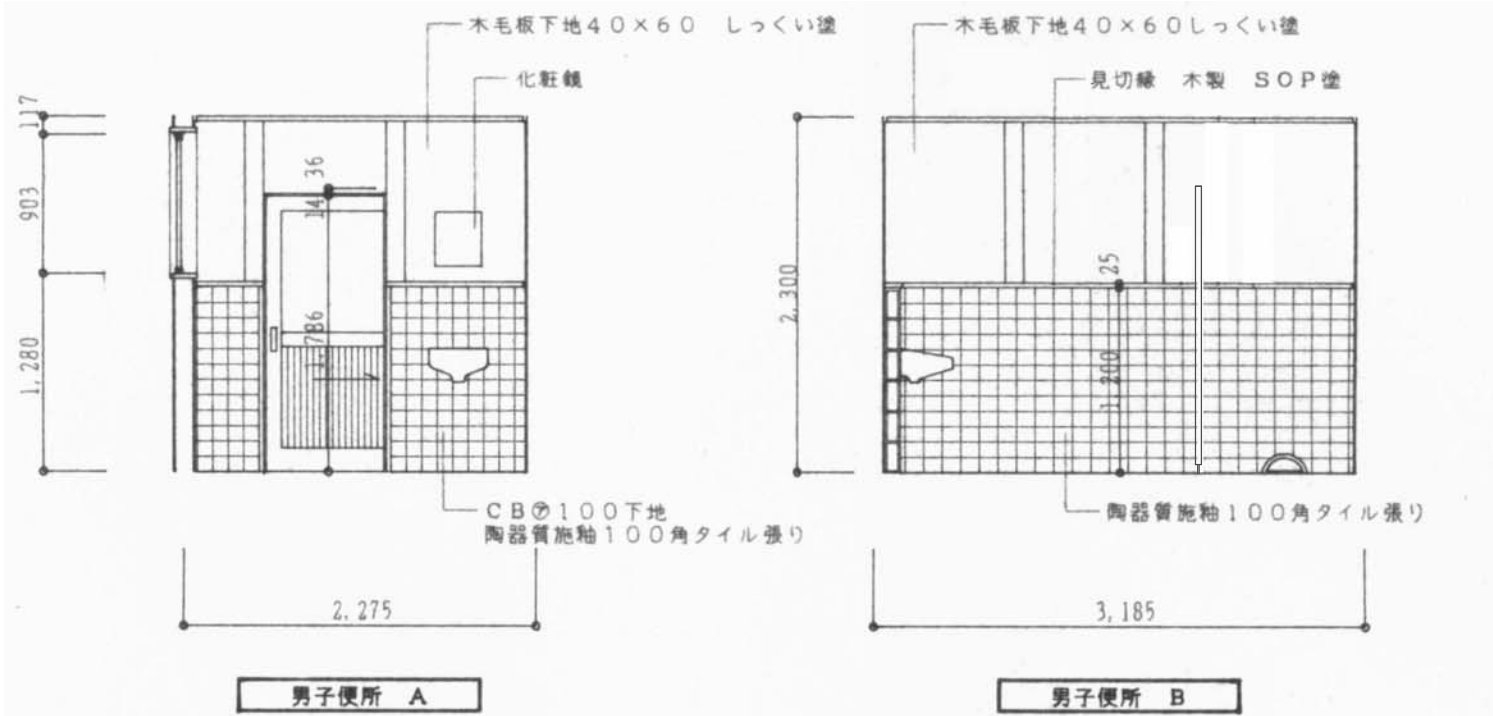
平 面 図 Scale=1:50

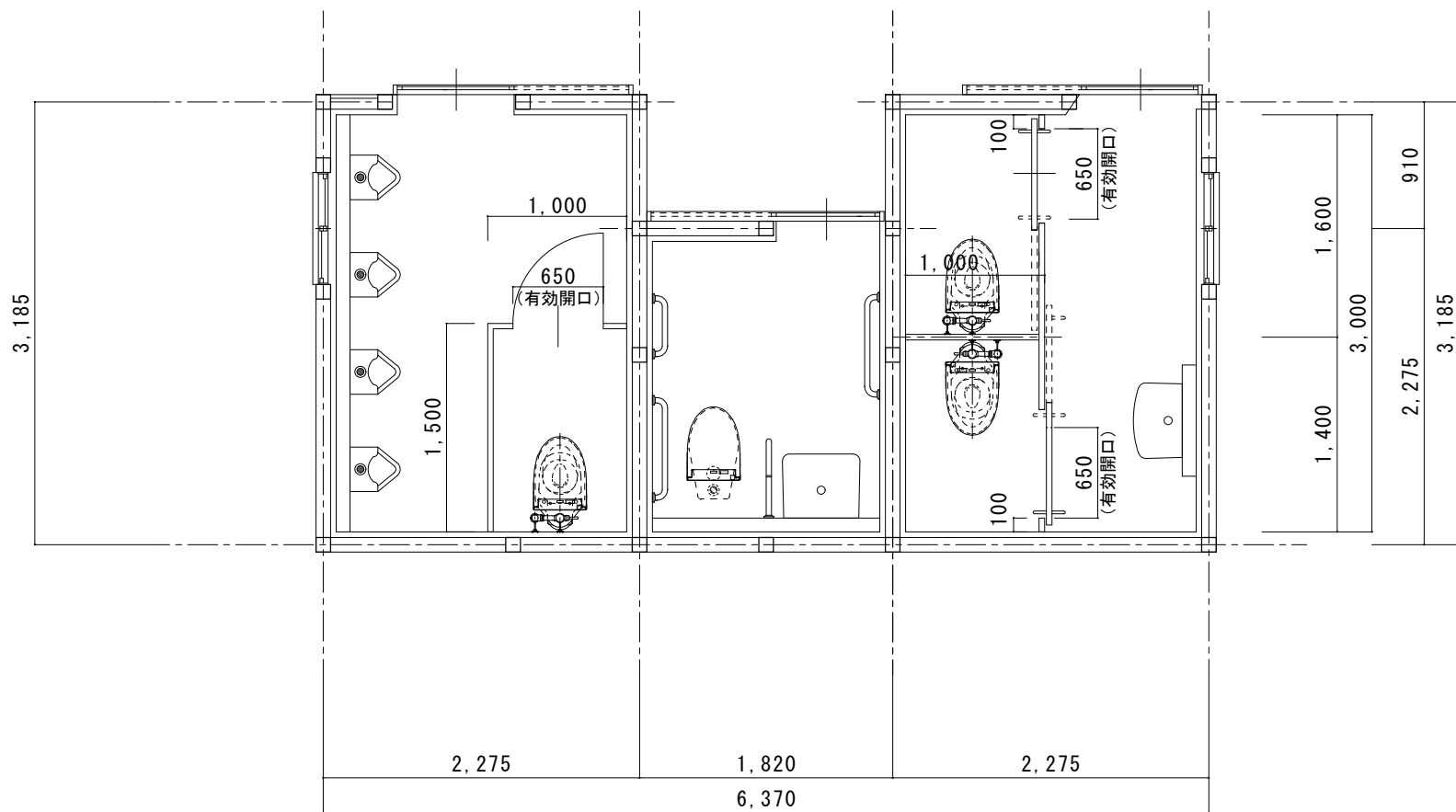
男子便所トイレブース 撤去処分
仕様 ポリエステル化粧板 厚40 1台



女子便所トイレブース 撤去処分
仕様 ポリエステル化粧板 厚40 1台

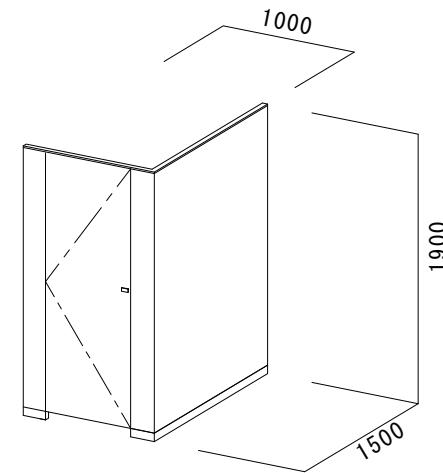




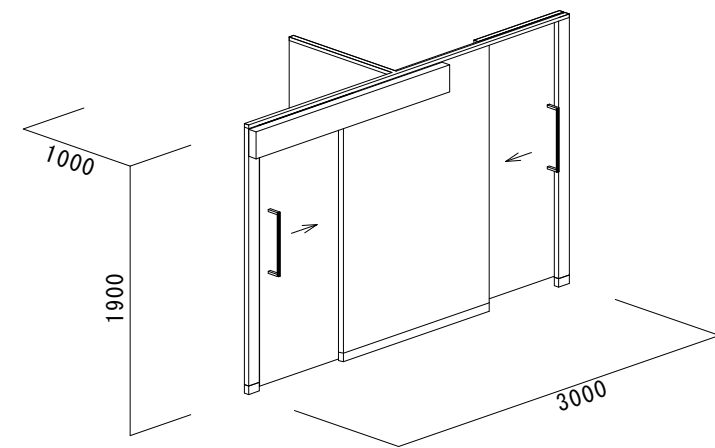


平面図 Scale=1:50

T B - 1 男子便所トイレブース 1 台
仕様 高圧メラミン化粧板 厚40
ドアエッジ アルミニウム押出型材
巾木 ステンレス SUS304



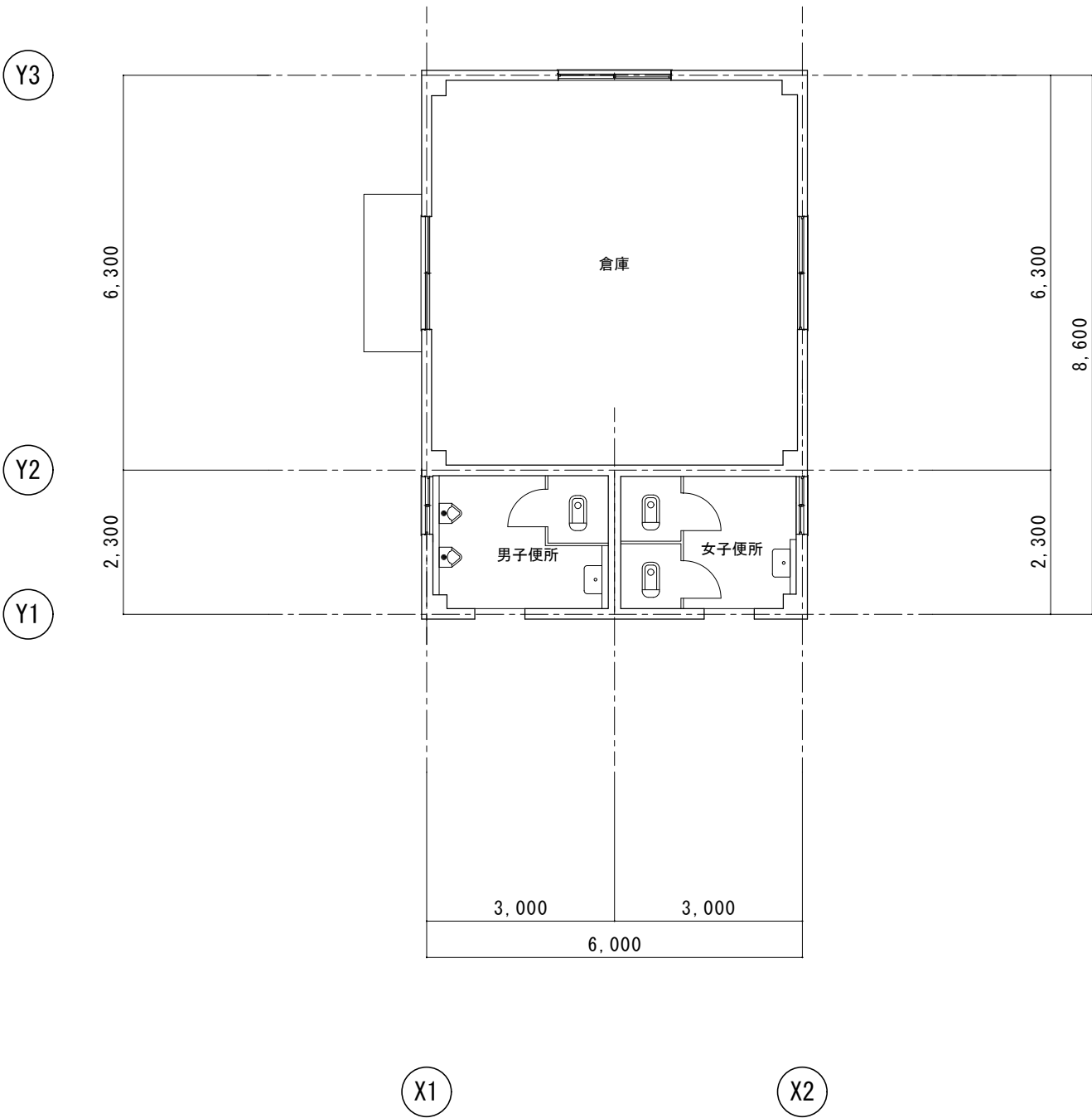
T B - 2 女子便所トイレブース 1 台
仕様 高圧メラミン化粧板 厚40
ドアエッジ アルミニウム押出型材
巾木 ステンレス SUS304



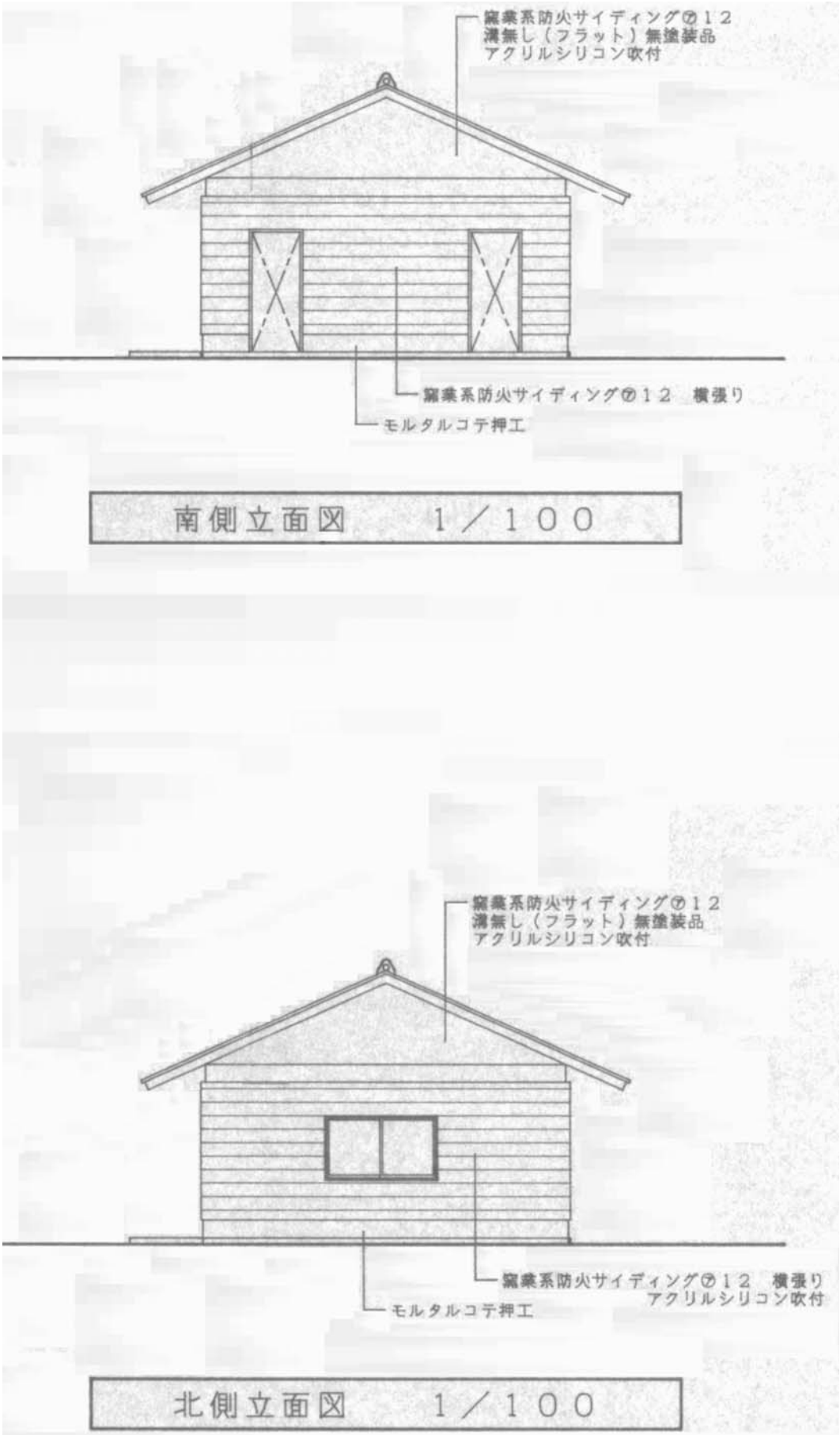
概要


- 和式便器を洋式便器に改修
- 既設トイレブース撤去、新設
- 照明器具 LED照明に改修
- 衛生給排水設備改修（詳細は設備図による）
- 改修にかかる部分の床磁器タイル（50x50）撤去、新設

※ 施工に当たっては施工図により係り員の承諾を得ること

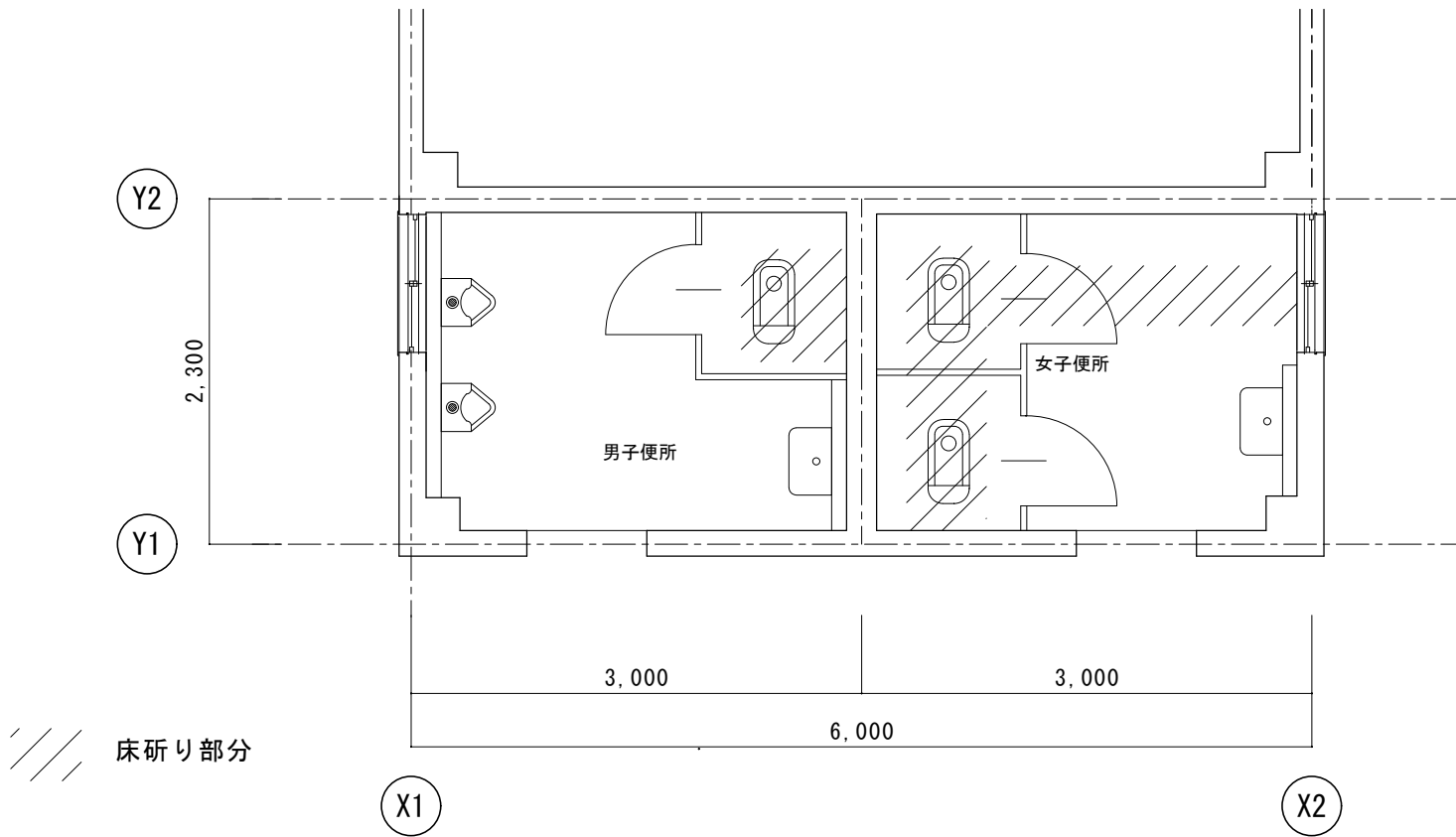


平 面 図 Scale = 1 : 100



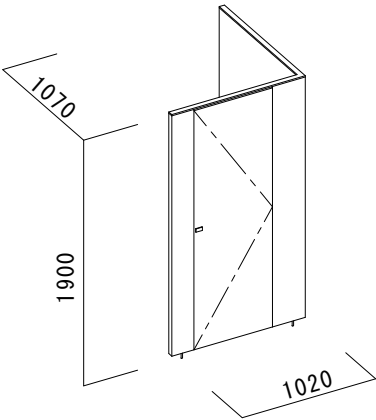
令和6 年	 一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号 佐伯建築設計事務所	一級建築士 建設大臣 第223265号 佐伯晃志郎	・構造設計 ・設備設計	工事名称 布野運動公園トイレ改修工事	図面名称 <倉庫棟> 既存立面図	縮尺 1:100
-------	---	------------------------------	----------------	-----------------------	---------------------	-------------

内部仕上	
床	50x50 磁器質タイル
腰壁	100x100 タイル
壁	漆喰
天井	
備考 床研り部分はコンクリートfc180 打設の上 同材(50x50 磁器質タイル)にて仕上げる	

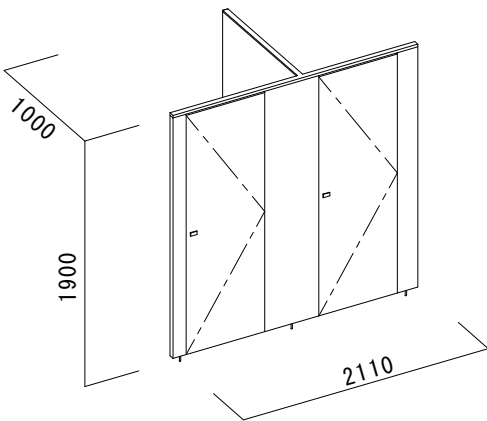


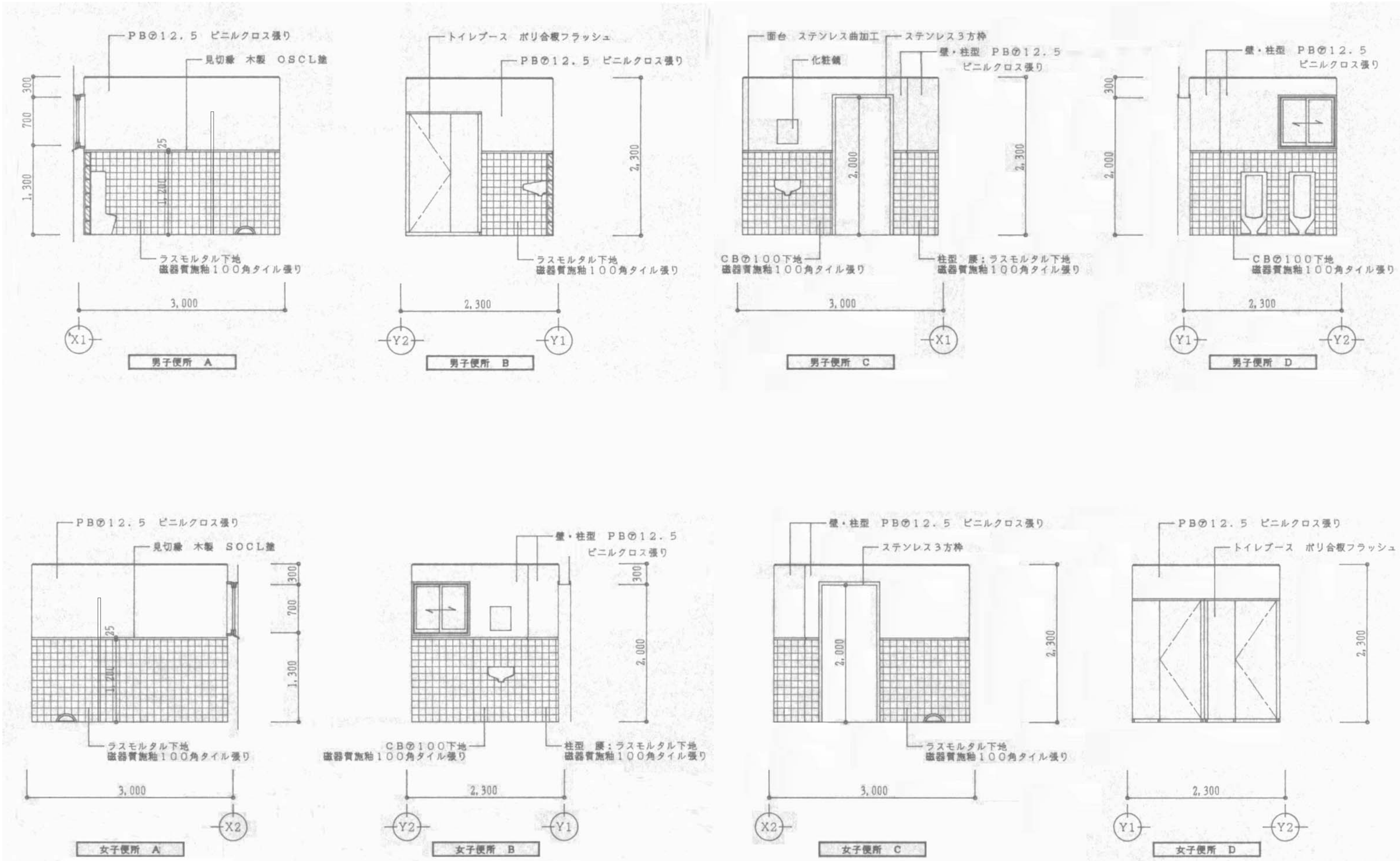
平 面 図 Scale=1:50

男子便所トイレブース 撤去処分
仕様 ポリエステル化粧板 厚40 1台

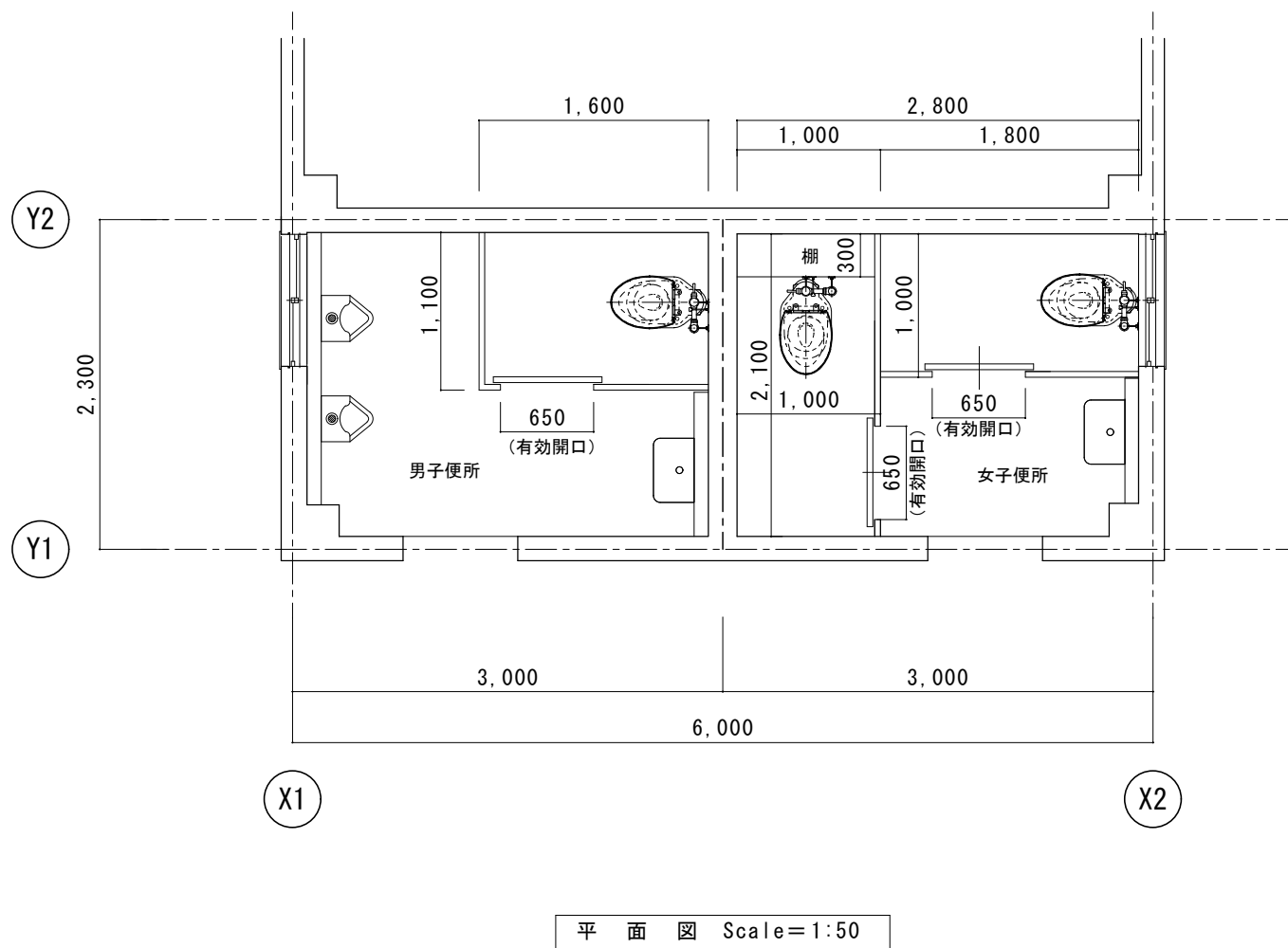


女子便所トイレブース 撤去処分
仕様 ポリエステル化粧板 厚40 1台

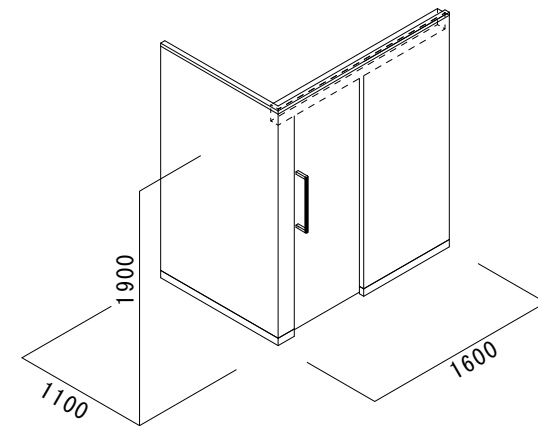




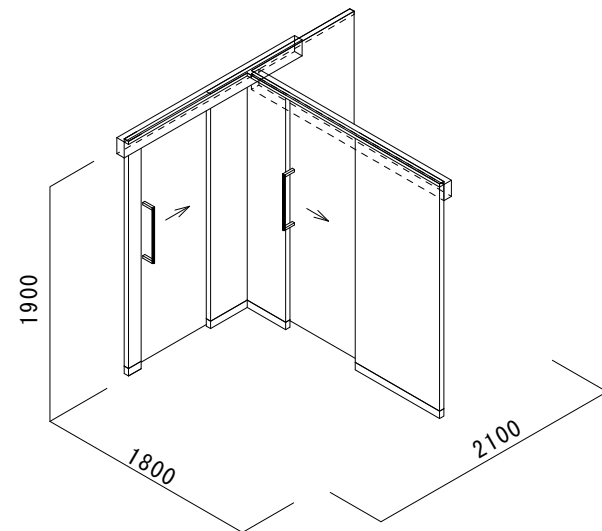
	<div><div><div></div></div><div>一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号</div><div>佐伯建築設計事務所</div></div>	<div><div>一級建築士 建設大臣 第223265号</div><div>佐伯晃志郎</div></div>	<div><div>・構造設計</div><div>・設備設計</div></div>	<div>工事名称</div> <div>布野運動公園トイレ改修工事</div>	<div>図面名称 <倉庫棟></div> <div>(改修前) 展開図</div>	<div>縮尺</div> <div>1:50</div>
--	---	---	---	--	--	-------------------------------



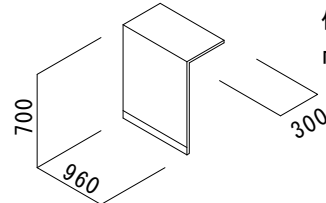
T B - 3 男子便所トイレブース 1 台
仕様 高圧メラミン化粧板 厚40
ドアエッジ アルミニウム押出型材
巾木 ステンレスSUS304



T B - 4 男子便所トイレブース 1 台
仕様 高圧メラミン化粧板 厚40
ドアエッジ アルミニウム押出型材
巾木 ステンレスSUS304



棚 1 台
仕様 高圧メラミン化粧板
巾木 ステンレスSUS304



(MT-40) 引戸 (面付タイプ)

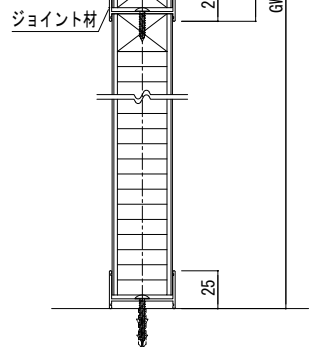
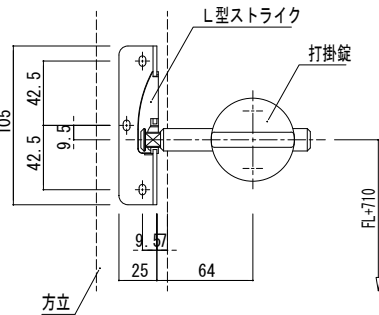
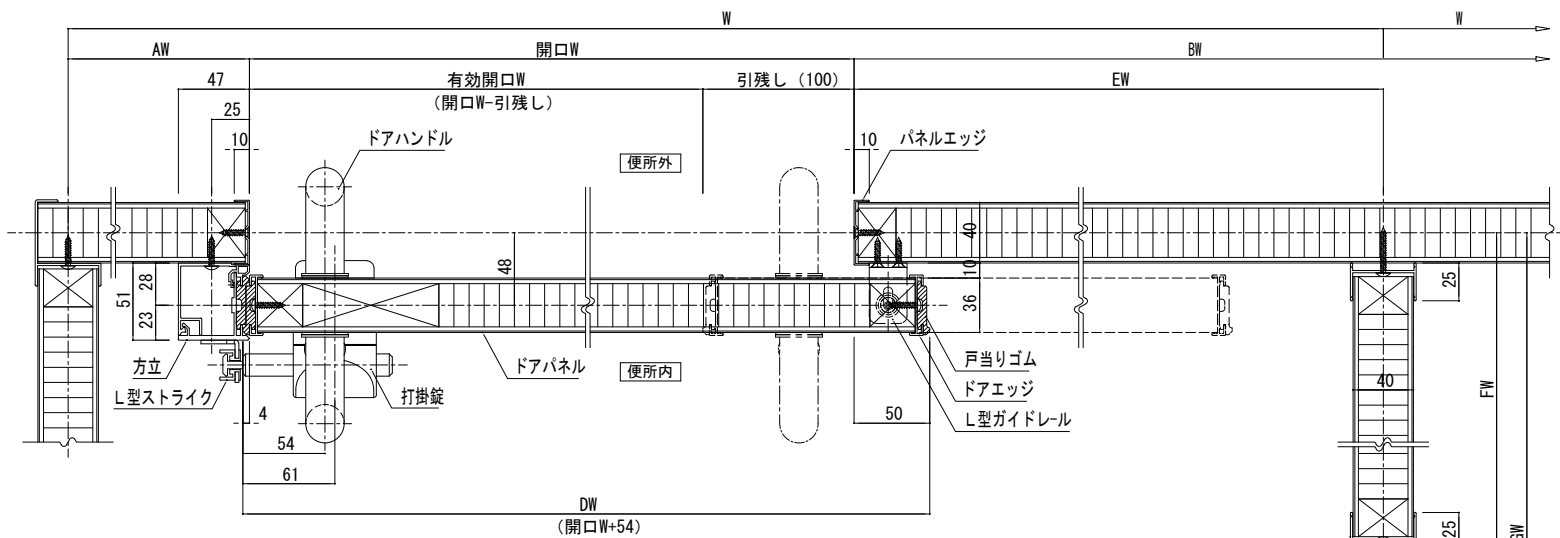
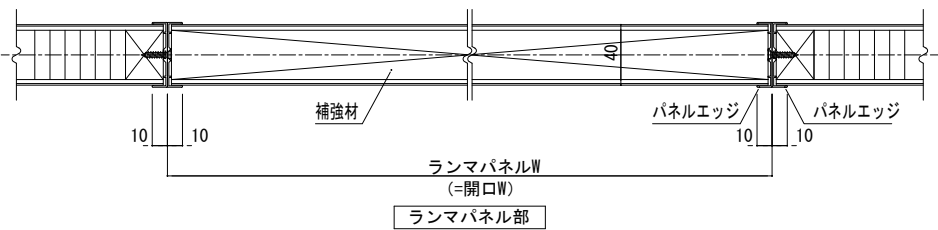
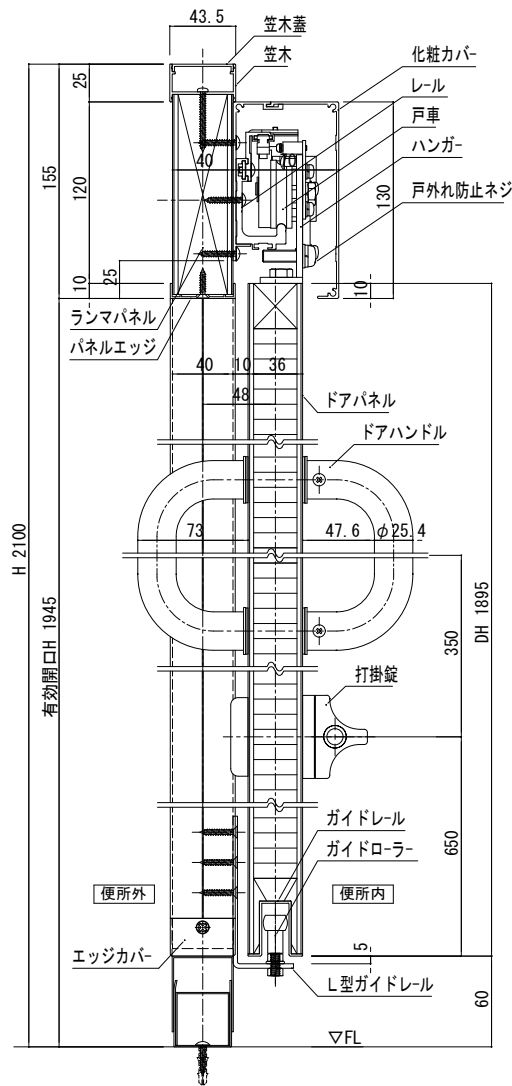
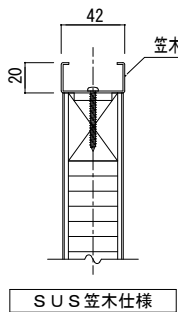
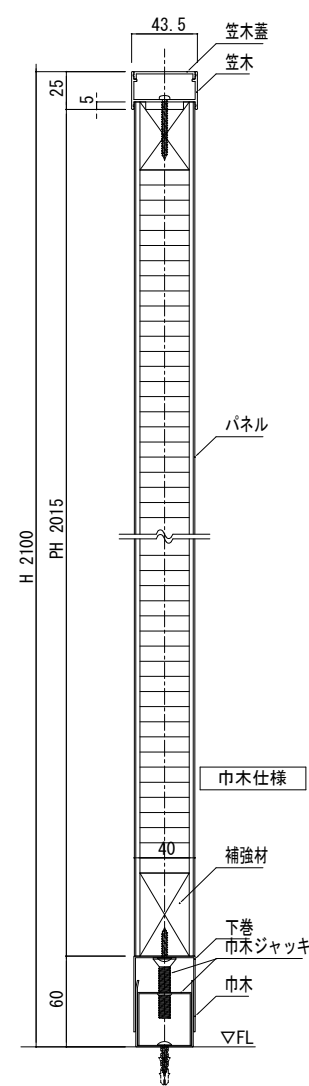
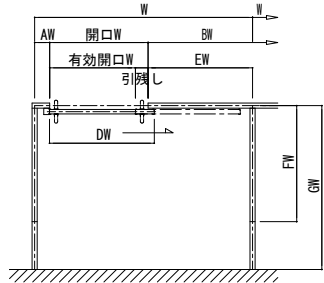
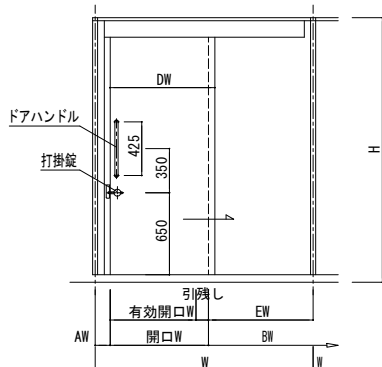
参考図

●パネル幅寸法 (mm)

	標準
AW	120
BW	-
EW	-
FW	920・1220
GW	120~1220
	(ジョイント仕様) MAX=2400

●開口幅寸法 (mm)

	標準
開口W	950
	MIN=800 MAX=1150
有効開口W	850
	MIN=700 MAX=1050



一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号

佐伯建築設計事務所

一級建築士 建設大臣 第223265号

佐伯晃志郎

・構造設計
・設備設計

工事名称

布野運動公園トイレ改修工事

図面名称

トイレブース詳細図 (1)

縮尺

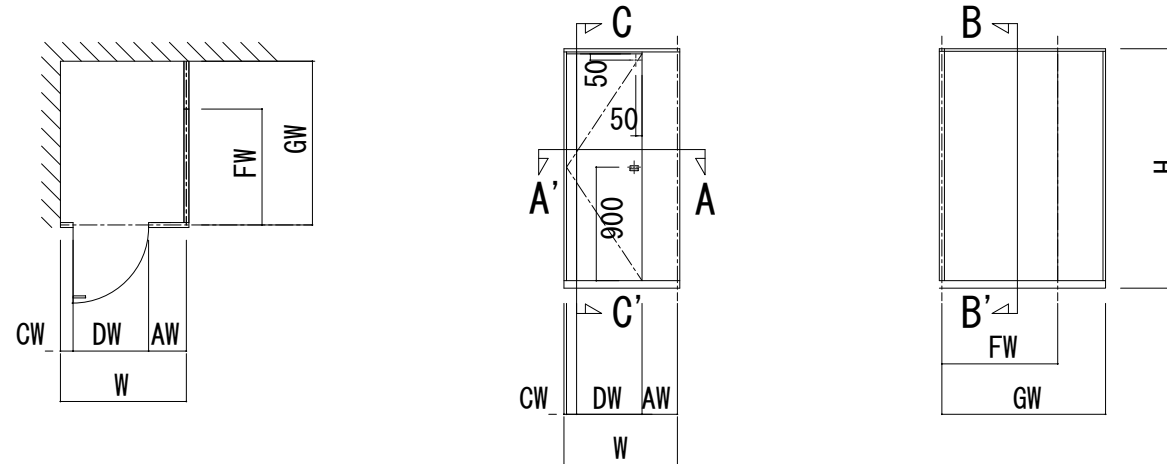
1:5

(MT-40) アルミアルエッジ[40-AR]

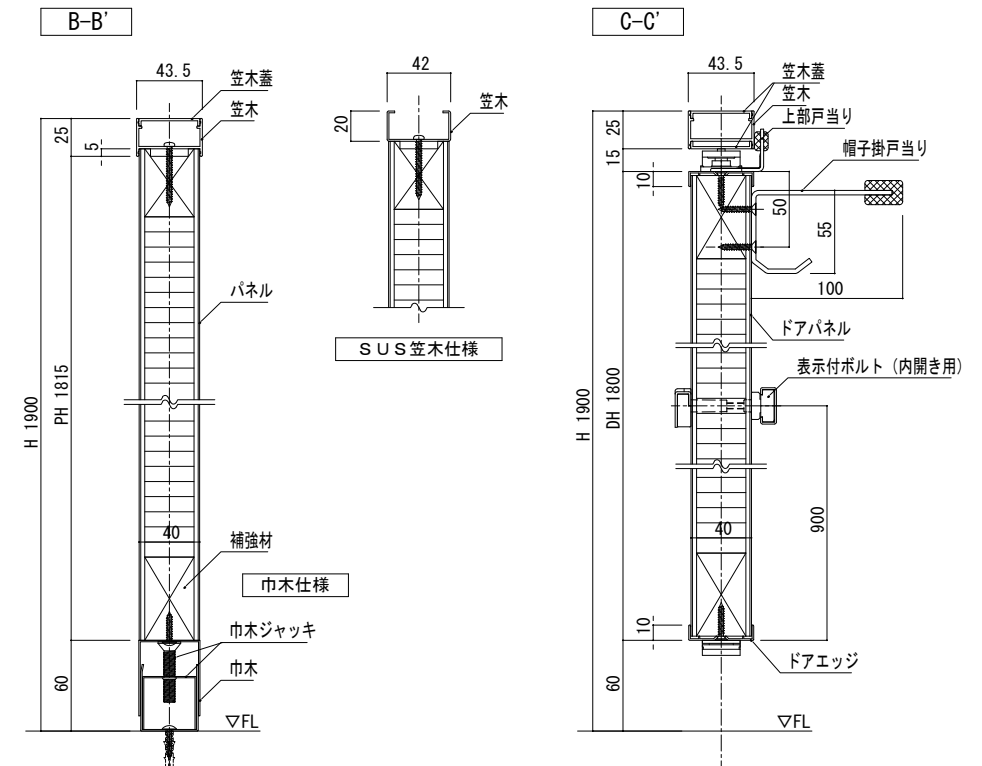
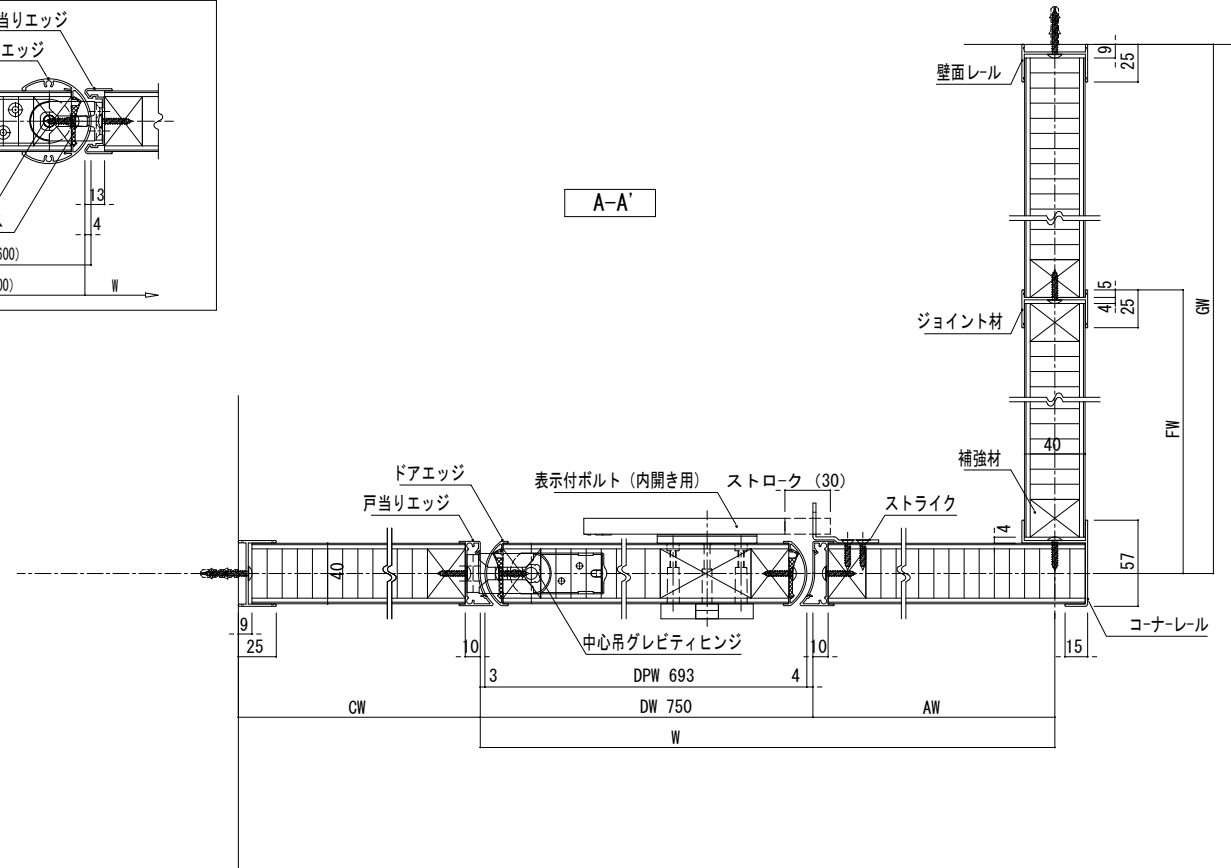
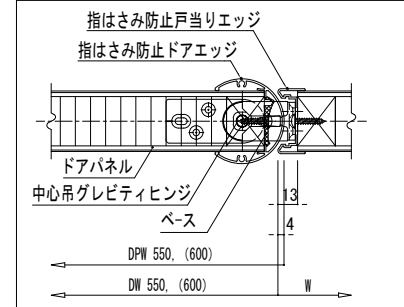
参考図

●パネル幅寸法 (mm)

AW	120~1180
BW	240~1200
CW	100
DW	700
EW	120
FW	920・1220
GW	120~1220
	(ジョイント仕様) MA X=2400



●ドア・戸当りエッジ(オプション) 指はさみ防止仕様の場合



一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号

佐伯建築設計事務所

一級建築士 建設大臣 第223265号

佐伯晃志郎

・構造設計
・設備設計

工事名称

布野運動公園トイレ改修工事

図面名称

トイレブース詳細図 (2)

縮尺

1:5

一般共通事項	23. 接地極	<div>接地極の材料は次による。(EBはD＝14：L＝1,500 D＝10：L＝1,000とする)</div> <table><thead><tr><th>接地の種類</th><th>記号</th><th>接地抵抗値</th><th>接地極</th></tr></thead><tbody><tr><td>共同接地</td><td>E_{A・D}</td><td>10Ω以下</td><td>EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー2組</td></tr><tr><td>共同接地</td><td>E_{A・G・D}</td><td>10Ω以下</td><td>EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー2組</td></tr><tr><td>A種</td><td>E_A</td><td>10Ω以下</td><td>EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー2組</td></tr><tr><td>B種</td><td>E_B</td><td>Ω以下</td><td>EB (D＝14又はW＝40) ×2連ー2組</td></tr><tr><td>C種</td><td>E_C</td><td>10Ω以下</td><td>EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー2組</td></tr><tr><td>D種</td><td>E_D</td><td>100Ω以下</td><td>EB (D＝14又はW＝40) ×1</td></tr><tr><td>高圧避雷器</td><td>E_{LH}</td><td>10Ω以下</td><td>EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー2組</td></tr><tr><td>交換機用</td><td>E_t</td><td>10Ω以下</td><td>EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー1組</td></tr><tr><td>通信用</td><td>E_{A_t}</td><td>10Ω以下</td><td>EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー2組</td></tr><tr><td>通信用</td><td>E_{D_t}及びE_{D_a}</td><td>100Ω以下</td><td>EB (D＝14又はW＝40) ×1</td></tr><tr><td>電話引込口の保安器用</td><td>E_{L_t}</td><td>100Ω以下</td><td>EB (D＝14又はW＝40) ×1</td></tr><tr><td>測定用</td><td>E_o</td><td>—</td><td>EB (D＝10又はW＝30) ×1</td></tr></tbody></table>	接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極	共同接地	E _{A・D}	10Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー2組	共同接地	E _{A・G・D}	10Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー2組	A種	E _A	10Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー2組	B種	E _B	Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×2連ー2組	C種	E _C	10Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー2組	D種	E _D	100Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×1	高圧避雷器	E _{LH}	10Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー2組	交換機用	E _t	10Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー1組	通信用	E _{A_t}	10Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー2組	通信用	E _{D_t} 及びE _{D_a}	100Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×1	電話引込口の保安器用	E _{L_t}	100Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×1	測定用	E _o	—	EB (D＝10又はW＝30) ×1	構内交換設備	1. 保安器用接地	※本工事 ・別途工事
	接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極																																																					
	共同接地	E _{A・D}	10Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー2組																																																					
	共同接地	E _{A・G・D}	10Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー2組																																																					
A種	E _A	10Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー2組																																																						
B種	E _B	Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×2連ー2組																																																						
C種	E _C	10Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー2組																																																						
D種	E _D	100Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×1																																																						
高圧避雷器	E _{LH}	10Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー2組																																																						
交換機用	E _t	10Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー1組																																																						
通信用	E _{A_t}	10Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×3連ー2組																																																						
通信用	E _{D_t} 及びE _{D_a}	100Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×1																																																						
電話引込口の保安器用	E _{L_t}	100Ω以下	EB (D＝14又はW＝40) ×1																																																						
測定用	E _o	—	EB (D＝10又はW＝30) ×1																																																						
24. 露出配管の塗装	塗装する部分 ・居室（ ） ・廊下 ・屋上、屋側 ・屋外 ・機械室	2. 壁付き電話機との接続	※モジュラージャック ・電話用プレート																																																						
25. プラスの塗装	ステン製プラスの塗装 ※有（メーカー指定色又は指定色仕上） ・無（素地仕上）	3. 電話機への配線	卓上電話機1台につき平均次のものを見込む。 ・ボタン電話機 EM-BTIEE 0.4 -2P (※15m ・) ・内線電話機 EM-TIEF 0.65 -2C (※15m ・) ・多機能電話機 EM-BTIEE 0.4 -2P (※15m ・) ・IP電話機 EM-UTP 0.5 -4P (※15m ・)																																																						
26. 屋上・屋側の支持金物等	ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したものとする。	4. 壁掛電話機	・2号ワイヤプロテクタ 1.5m 送受話器の落下防止を施す。																																																						
電灯設備	⑦ 露出配管の固定保護	2. 5m以下のサドル及びダクターには保護を行う。	拡声設備	1. 増幅器	・時報及び自動放送（体操放送等）はアッテネータを経由した回路とする。 （一斉回路は使用しない） ・増幅器の入出力配線と外部配線（壁ボックス等）の接続はコネクターによる。																																																				
	⑧ 屋上・屋側等への設置機材の周囲処理	建築物（構造体）に直接設置するブルボックス、各種盤及びダクターには周囲にシール処理を行う。		1. 施工方法	建物側配管引込み部の地盤変位対応種別（沈下量 ・0.2m以下 ・0.6m以下 ・1.0m以下）																																																				
	29. 工事安全計画書	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を作成し、監督職員に提出する。 図面に記載されていない工事区分は、別紙工事区分表による。		2. 地中箱	蓋の記号表示 鋳型流込み（※電気 ・ ） ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。																																																				
	30. 他工事との取合い	（ ）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。		3. 高圧負荷開閉器	・閉鎖形（重耐塩形） ・地絡継電器付（※方向性 ・無方向性） ※別置制御装置までの制御ケーブルを付属すること。																																																				
雷保護設備	31. 天井仕上区分		構内配電線路	4. 高圧ケーブルの屋外端末処理	・一般形 ・耐塩形																																																				
	① 配線器具	・接地極付きコンセント（2P15A）はプラグ無しとする。 ・防水形コンセントはプラグ無しとする。 ・ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。		5. 標識シート	・高圧 ※低圧 ・																																																				
	② 照明器具	1）蛍光ランプ及びLEDの光源色は下記による。 コンパクト形ランプ（H24）の光源色 （・電球色 ※昼白色） LEDの光源色 （・電球色 ※昼白色） 2）Hf形蛍光灯器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100V～242V）に対応するものとする。		6. 照明用ポール	照明用ポールは配線用遮断器（トリップ機能なし）又はカットアウトスイッチ（素通しヒューズ）を設ける。ただし、ガーデンライト及びLEDは除く。																																																				
	3. 非常用照明の照度測定	設置した各部屋2箇所以上		1. 施工方法	建物側配管引き込み部の地盤変位対応種別（沈下量 ・0.2m以下 ・0.6m以下 ・1.0m以下）																																																				
受変電設備	4. 照明制御の照度測定等	明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定（100％点灯時（※夜間 ・ ））（調光制御点灯時（※夜間 ※昼間））	構内通信線路	2. 地中箱	蓋の記号表示 鋳型流込み（※電気 ・ ） ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。																																																				
	5. 照明制御装置設定器	納入数 ※1個 ・ 個		3. 標識シート	・通信 ・																																																				
	1. 大地抵抗の測定	工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。																																																							
	2. 接地システム	・構造体利用接地極 ・A型接地極 ・B型接地極 ・JIS A 4201-1992																																																							
発電設備	1. 受変電設備容量	350 kVA 次のものを付属させる。																																																							
	2. 変圧器	・移動車輪（75kVA以上のもの） ・防震ゴム ・ダイヤル温度計（置針付） モールド変圧器の表面は充電部とみなし、注意標識を取付ける。																																																							
	3. 予備品等	標準仕様書によるほか電力ヒューズ現用定格値のものを現用数																																																							
	〈燃料系発電装置〉 1. 電気方式 2. 発電機容量 3. 燃料小出槽 4. 燃料種別 〈太陽光発電装置〉 1. 太陽電池アレイ 2. パワーコンディショナ 3. 表示装置 4. 連系する電力系統	・高圧 ・低圧 kVA以上 返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは、通過形接点とする。 ・軽油 ・A重油 公称出力 kW以上 交流出力の電気方式 相 線 V 定格容量 kW以上 ・液晶ディスプレイ ・LED表示装置 ・低圧連系 ・みなし低圧連系 ・高圧連系																																																							

① 機器取付高

機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。

	名 称	測 点	取付高 (mm)		名 称	測 点	取付高 (mm)
電力 共通	取引用計器	地 上～窓中心	1,800～2,000	表	表示盤	天井下～上 端	200
	引込開閉器	床 上～中 心	1,800～2,200		壁付発信器	床 上～中 心	1,300
電				示	ベル、ブザー、チャイム	天井下～上 端	200
	分電盤	床 上～中 心	1,500(上端1,900以下)		受付押ボタン (一般)	床 上～中 心	1,300
	スイッチ	〃	1,300	誘	電源箱	床 上～下 端	300
	〃 (多機能化)	〃	1,100				
	〃 (自動・手動切替)	〃	1,800	導	外部受付用(子機)	標準図による	
	コンセント (一般)	〃	300		車椅子用(子機)	地 上～中 心	1,000
	〃 (和室)	〃	150	支	壁付(子機)(上記以外)	床 上～中 心	1,300
	〃 (台上)	台 上～中 心	150		壁付押ボタンの(多機能化)	〃	900
灯	〃 (土間)	床 上～中 心	800～1,300	援	壁付押ボタンの(多機能化)	〃	300
	〃 (車椅子用)	〃	900		床転倒時用		
	〃 (トイレ)	〃	300～400	テレビ共同受信機	機器収容箱	天井下～上 端	200
	ブラケット (一般)	〃	2,100～2,300	火災 報知 設備	直列ユニット	床 上～中 心	300
	〃 (踊場)	〃	2,000～2,500		〃 (和室)	〃	150
	〃 (鏡上)	鏡上端～中 心	150	ガ ス 検 知			
					受信機・副受信機	床上～操作部	800～1,500
	動	壁掛形制御盤	床 上～中 心	1,500(上端1,900以下)	構 内 交 換	機器収容箱	〃
力	手元開閉器	〃	1,500	発信機		床上～中心	800～1,500
構 内 交 換	操作スイッチ	〃	1,300	ベル	天井下～上 端	200	
	端子盤	床 上～下 端	300	表示灯	〃	200	
	保安器箱	天井下～上 端	200				
	壁付アウトレット	床 上～中 心	300	ガス漏れ中継器	天井下～中 心	300	
電 気 計 器 拡 声	〃 (和室)	〃	150	ガ ス 検 知	検知器 (都市ガス)	天井下～下 端	300
					〃 (LPガス)	床 上～上 端	300
	壁掛形親時計	床 上～中 心	1,500(上端1,900以下)				
	子時計	天井下～上 端	200				
声	壁掛形スピーカ	〃	200				
	壁付アッテネータ	床 上～中 心	1,300				

② 配線図記号その他

- 1) EEF1.6-2C×2は、EEF1.6-4Cを使用してもよい。
2) EMケーブルの表記は警報用及び同軸ケーブルを除き「EM-」を省略する。

③ コリンス登録について

受注者は受注時又は変更時において請負金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス (CORINS) に基づき、登録 (契約)、途中変更、竣工、訂正時に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督員の確認を受けた後に登録機関に登録申請し、登録機関発行の「登録内容確認書」を監督員に提出しなければならない。なお、途中変更時の登録が必要な場合とは、工期の変更、技術者の変更があった場合とする。

別表-1「外部機関等による評価済み機材表」

品 目	機 材 名
蛍光灯器具	
照明制御装置	
可変速電動機用インバータ装置	(注)
盤類	分電盤 (実験盤を含む) キュービクル式配電盤 制御盤
高圧機器	高圧交流遮断器 高圧避雷器 高圧進相コンデンサ 高圧限流ヒューズ 火災報知受信機 高圧負荷開断装置 中央監視制御装置 変圧機 通信総合盤
交流無停電電源装置 (UPS)	
太陽光発電装置	パワーコンディショナ及び系統連系保護装置
監視カメラ装置	
中央監視制御装置	監視制御装置

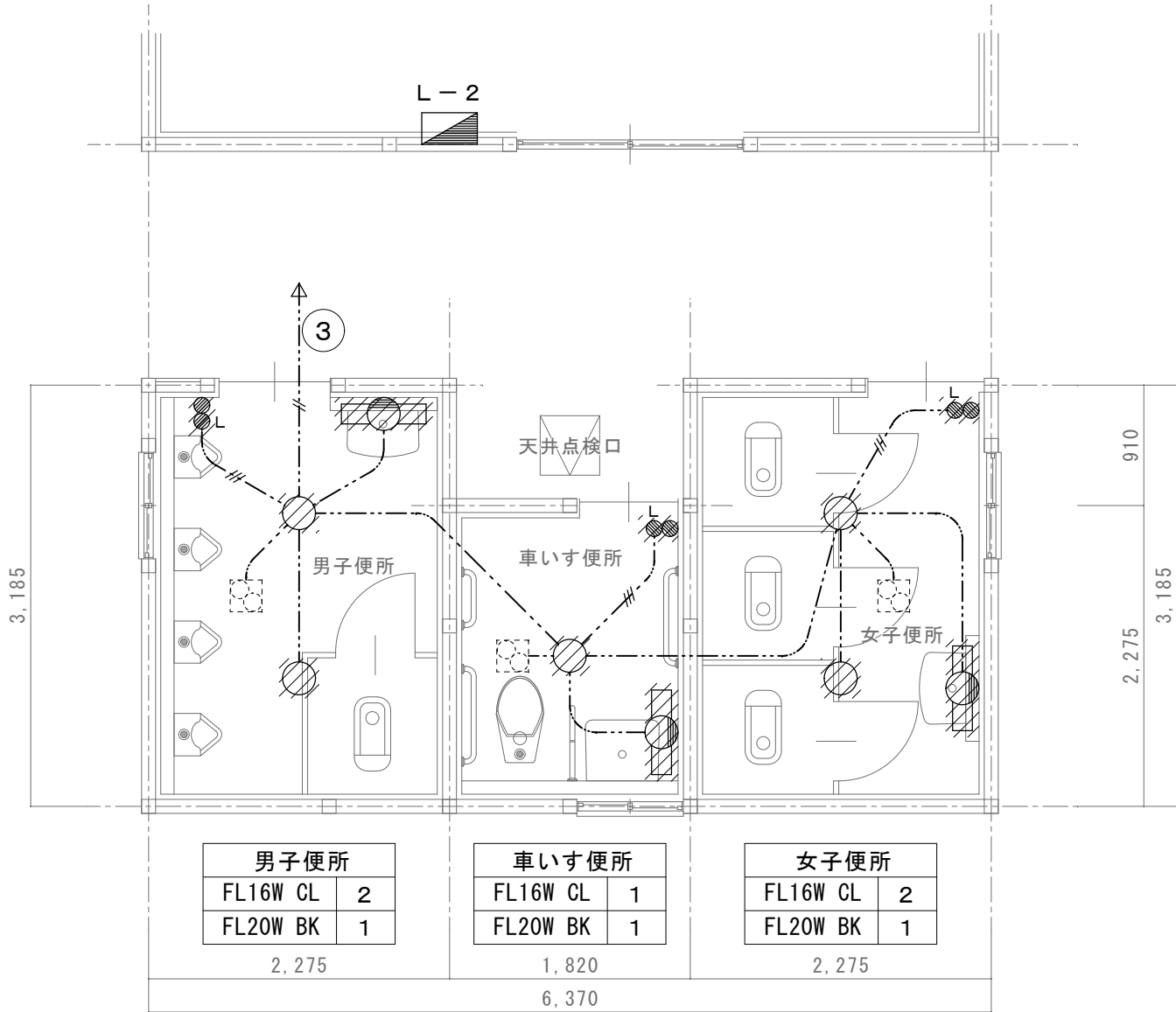
規約効率率は以下の表に示すとおり (JEM-TR 245 「汎用インバーターの規約効率」により算出。JISC4212 「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の低かつ電圧200V、IP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値) とする。

電動機出力 (kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45
規約効率 (%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	95.0	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5

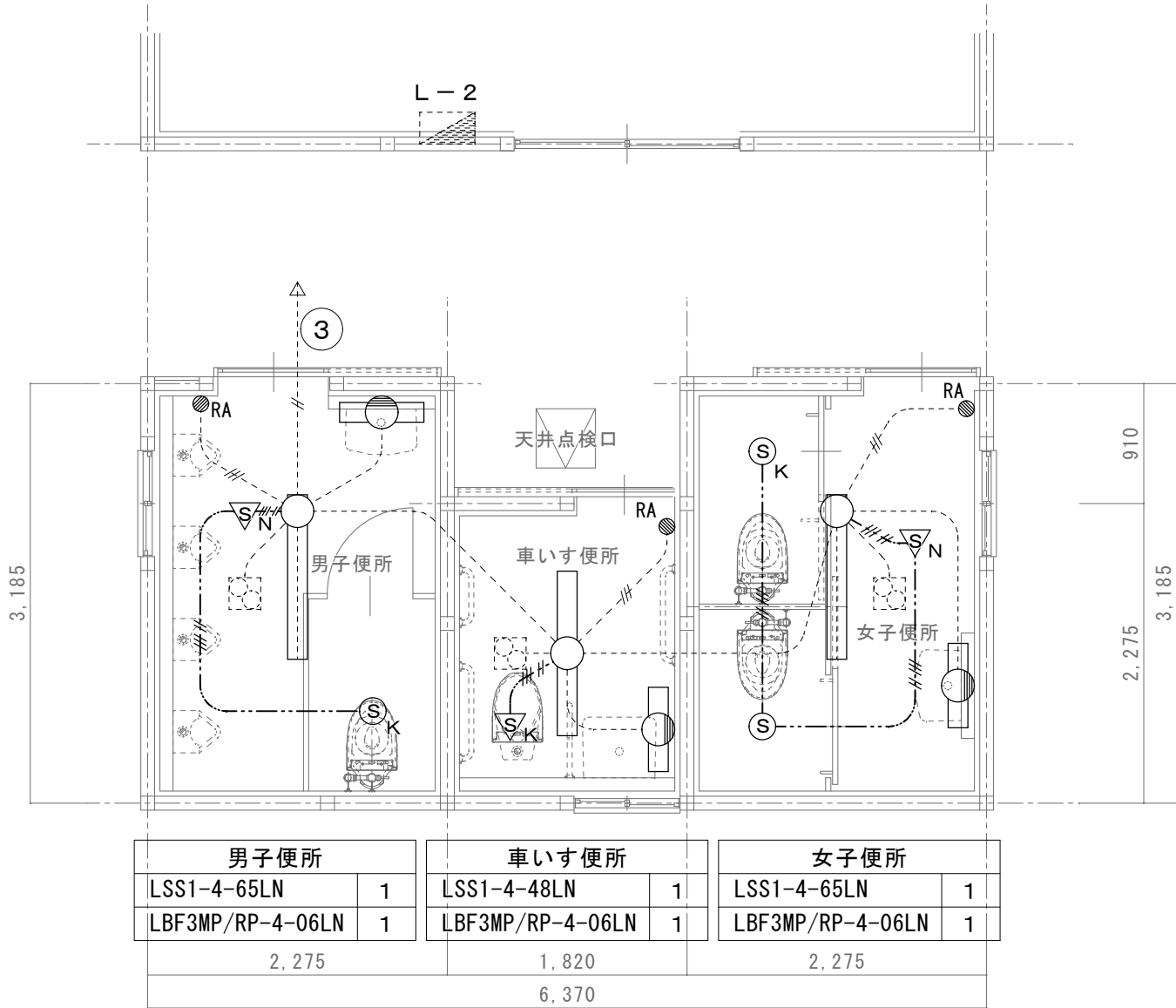
そ

の

他



平面図（改修前） Scale=1:50



平面図（改修後） Scale=1:50

注 記

1. 特記なき配管配線は、下記の通りとする。

---#--- EM-EEF 2.0-2C

---#--- EM-EEF 1.6-2C

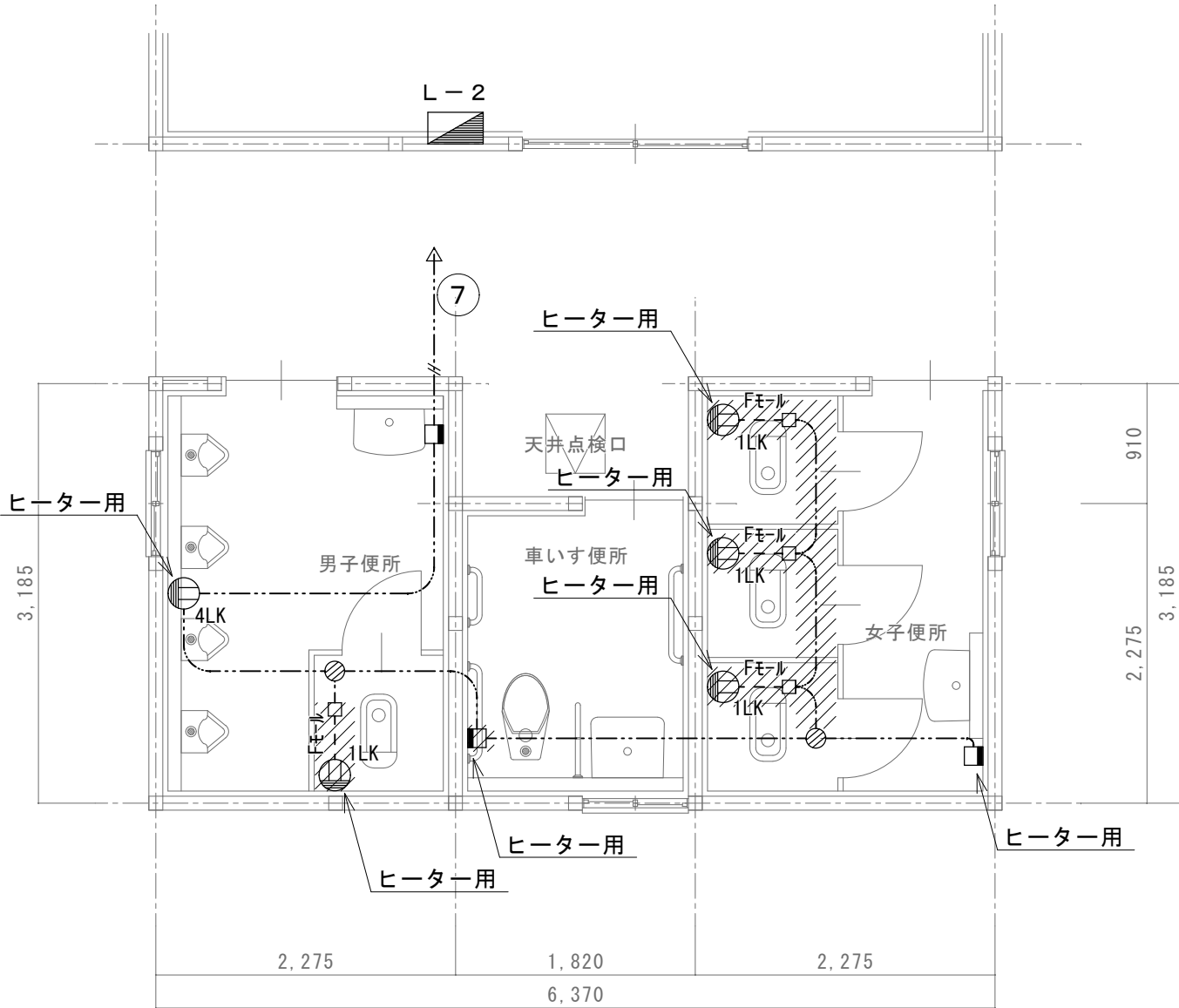
---#--- EM-EEF 1.6-3C

---#--- EM-EEF 1.6-2C + 3C

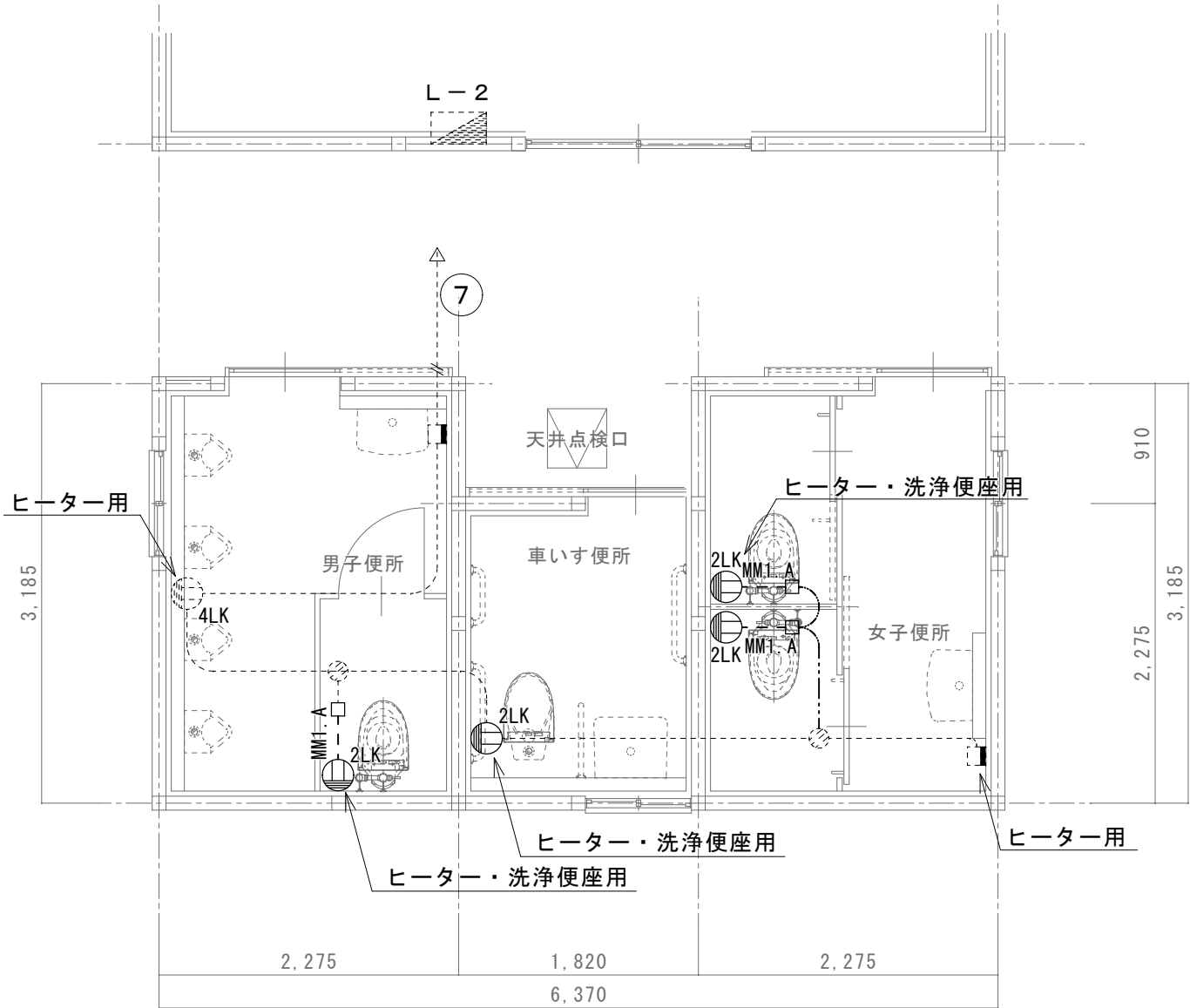
二重天井内はケーブル転がし配線とする。

凡 例		
記 号	名 称	仕 様
(○○)	既 設	既設配線、既設機器をします。
////	撤 去	撤去配線、撤去機器をします。

- ▽_N - 熱線センサー親器
- ▽_K - 熱線センサー親器（換気扇連動）
- Ⓢ_K - 熱線センサー子器（換気扇連動）
- _{RA} - 熱線センサー操作スイッチ（ガードプレート付）



平面図（改修前） Scale=1:50



平面図（改修後） Scale=1:50

注 記

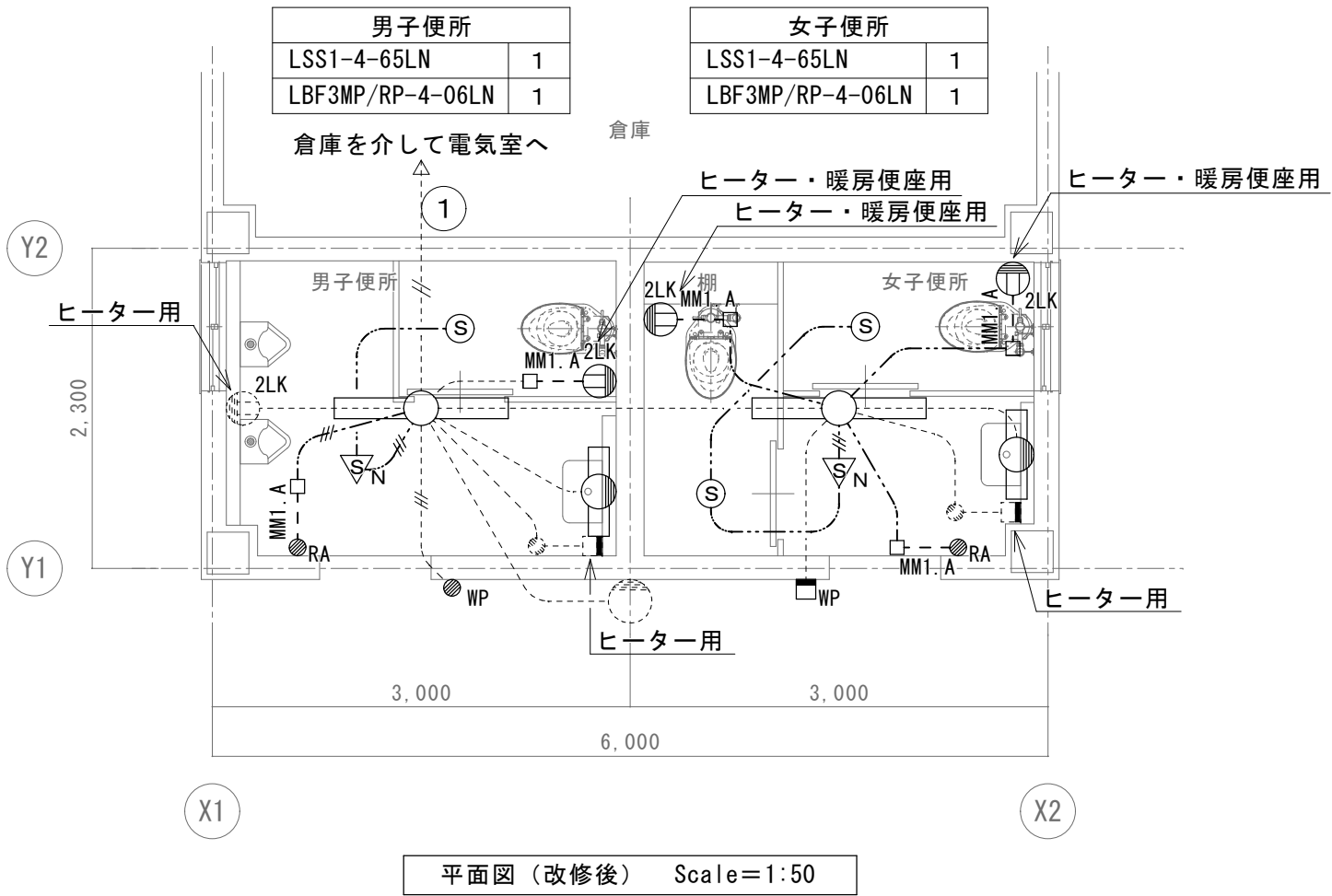
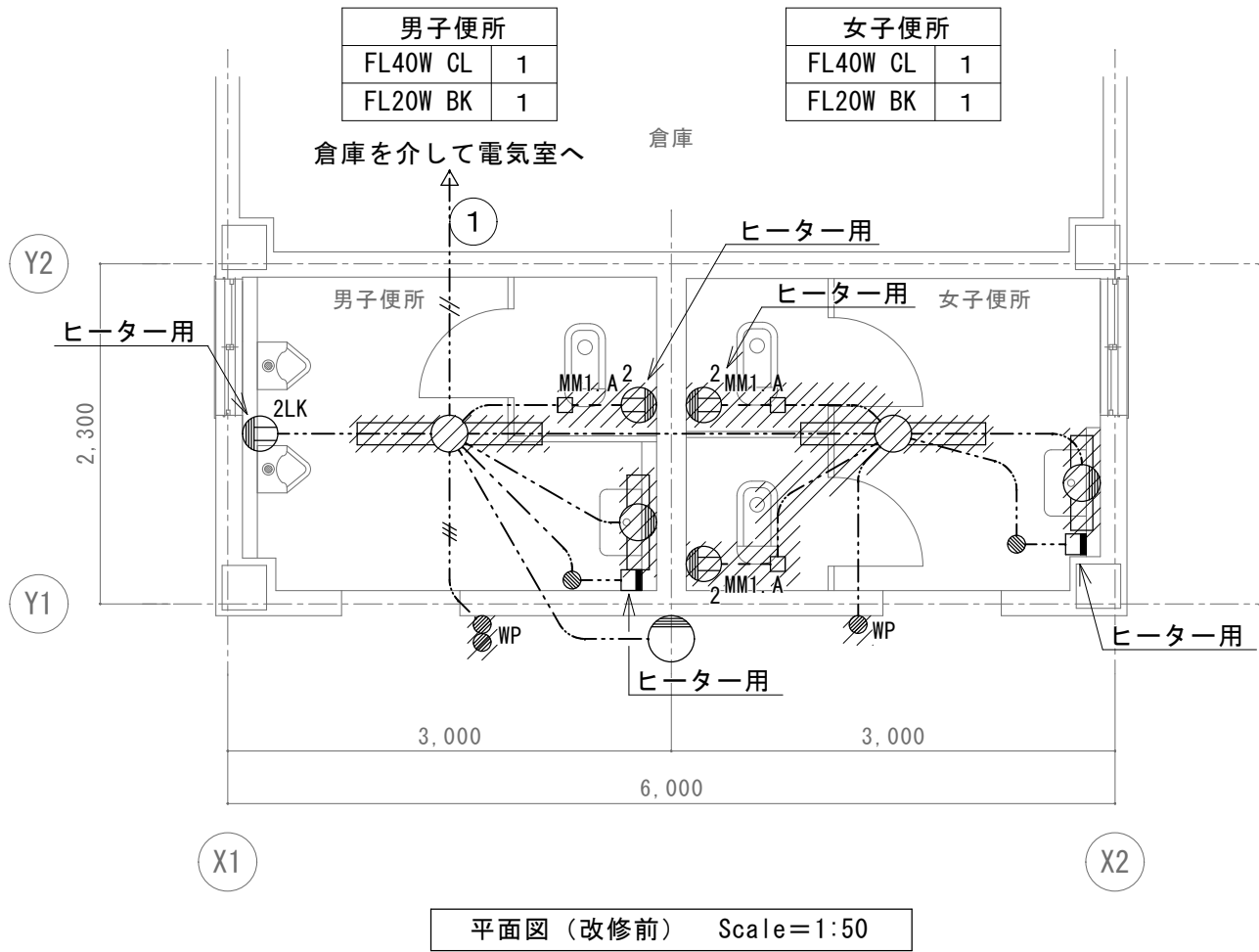
1. 特記なき配管配線は、下記の通りとする。

---#--- EM-EEF 2.0-2C

----- EM-EEF 1.6-2C

二重天井内はケーブル転がし配線とする。

凡 例		
記 号	名 称	仕 様
---(〇〇)---	既 設	既設配線、既設機器をします。
++++++	撤 去	撤去配線、撤去機器をします。



注 記

1. 特記なき配管配線は、下記の通りとする。

---#--- EM-EEF 2.0-2C

---#--- EM-EEF 1.6-2C

---#--- EM-EEF 1.6-3C

---#--- EM-EEF 1.6-2C + 3C

但し、二重天井内はケーブル転がし配線とする。

凡 例		
記 号	名 称	仕 様
---(〇〇)---	既 設	既設配線、既設機器をします。
++++++	撤 去	撤去配線、撤去機器をします。

- ▽_N - 熱線センサー親器
- Ⓢ - 熱線センサー子器
- _{RA} - 熱線センサー操作スイッチ
(ガードプレート付)

I . 工 事 概 要

- 1 . 工 事 名 称
- 布 野 運 動 公 園 ト イ レ 改 修 工 事
- 2 . 工 事 場 所
- 三 次 市 布 野 町 上 布 野
- 3 . 建 物 概 要

建物名称	構 造	階 数	建築基準法による 延べ面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	備 考
生活センター棟	木 造	平屋			・ 新築 ・ 増築 ⊙ 既存
倉 庫 棟	鉄骨造	平屋			・ 新築 ・ 増築 ⊙ 既存
					・ 新築 ・ 増築 ・ 既存
					・ 新築 ・ 増築 ・ 既存

4 . 工 事 種 目 (⊙ 印の付いたものを適用する)

建物別及び屋外 工事種目	工事種別				
	生活センター棟	倉 庫 棟			屋 外
・ 空調設備					
・ 換気設備					
・ 排煙設備					
・ 自動制御設備					
⊙ 衛生器具設備	改設一式				
⊙ 給水設備	改設一式				
⊙ 排水設備	改設一式				
・ 給湯設備					
・ 消火設備					
・ ガス設備					
・ 特殊ガス設備					
・ 厨房器具設備					
・ 浄化槽設備					

- 5 . 指 定 部 分
- ※ なし ・ あり (工期:~平成 年 月 日 対象部分:)
- (改修工事の場合の部分使用 ※ あり ・ なし)

6 . 設 備 概 要

冷 暖 房 設 備	空調設備方式	・ 空調設備 (・ 単一ダクト方式 ・ 各階ユニット方式 ⊙ パッケージ方式 ・ ファンコイルユニット、ダクト併用方式)
	主要熱源機器	・ 鋼製ボイラー ・ 鋳鉄製ボイラー ・ 温水発生機 (・ 真空式 ・ 無圧式) ・ チリングユニット ・ 直焚吸収冷温水機 ・ 小型吸収冷温水機ユニット ・ 空気熱源ヒートポンプユニット ・ パッケージ形空調設備
換 気 設 備		
排 煙 設 備		
自 動 制 御 設 備		
衛 生 設 備	給 水 源	⊙ 上水道 ・ 井水
	給 水 方 式	⊙ 水道直結方式 ・ 高架水槽方式 ・ ポンプ直送方式 ・ 増圧給水方式
	排 水 方 式	⊙ 自然流下 ・ ポンプ排水 (・ 汚物 ・ 汚水 ・ 雑排水)
	放流先	汚水 ⊙ 直放流下水管 ・ 浄化槽 雑排水 ⊙ 直放流下水管 ・ 浄化槽 ・ 側溝 ・ 別途樹
設 備	給 湯 設 備	・ 有リ (・ 局所式 ・ 中央式) ⊙ 無し
	消 火 設 備	・ 屋内消火栓 ・ 連結送水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー ・ 泡消火 ・ 連結散水装置 ・ 粉末消火装置 ・ 不活性ガス消火 (・ 不活性ガス ・ 二酸化炭素) ・ フード など用簡易自動消火装置
	ガ ス 設 備	・ 都市ガス 種別 (MJ / Nm 3) ・ 液化石油ガス
	浄 化 槽 設 備	・ 有リ (・ 単独処理 ・ 小規模合併処理 ・ 合併処理) ⊙ 無し

II . 工 事 仕 様

1 . 共 通 仕 様

- 1) 図面及び特記事項に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) (平成22年版)」(ただし改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) (以下「標準仕様書」という) 及び「公共建築工事標準図(機械設備工事編) (平成22年版)」(以下「標準図」という) による。
- 2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
- 3) 標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等(条例含む)に抵触する場合は、関係法令等の遵守(1. 1. 14)を優先する。
- 4) 工事中及び竣工後、下記に示す調査を行うため、発注者より連絡があれば対応すること。
①公共事業労務費調査…工事中に実施(調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等)
②完成施設事後調査(第1次調査)…引渡後概ね6ヵ月後
③完成施設事後調査(第2次調査)…引渡後概ね1年後
④かし担保調査…建設工事請負契約約款第41条に定める期間内

区 分	項 目	内 容
総 則	1. 取扱 2. 優先順位	本仕様書は、標準仕様書の一般共通事項の補足及び、追加項目をとりまとめたものである。 設計図書の優先順位は次の順序とする。 (イ) 技術的説明事項(追加説明、質問回答書を含む) (ロ) 特記仕様書(図面記載のものを含む) (ハ) 設計図面(標準図を含む) (ニ) 標準仕様書(平成22年版)
	3. 官公署その他への 手続き等	官公署その他への手続きは、受注者が遅滞なく行い、これに要する費用は、すべて受注者の負担とする。 また関係法令に基づく官公署その他関係機関の検査において、その検査に必要な資機材及び労務を提供し、これに直接要する費用を受注者が負担する。
	4. 別契約の関係工事 との協調	建築、電気その他別契約の関係工事について、工程及び、取合部分の施工に関し、常に緊密に連絡し、工事の円滑な進捗を図るものとする。
	1. 現場代理人及び主任 技術者等指名届 2. 工程表 3. 施工図等 4. 施工計画書 5. 工程報告 6. 工事実績情報の登録	約款第10条に規定する現場代理人及び主任技術者については、別に示す様式で必要な添付書類のほか、経歴書を添付して提出する。 約款第3条に規定する。工程計画表は営繕課で示す様式により、別契約の関係工事との取合いを調整したものを提出する。 別契約の関係工事との取合いを十分に打合せ、各現場代理人捺印のうえ提出する。 当該建物の取得する施工図の著作権に係わる当該建物に限る使用权は発注者に移譲するものとする。 工事の着手に先立ち、現場の体制・組織、仮設計画、安全衛生管理、緊急時の連絡、災害予防その他の現場運営に必要な計画を定めた「総合施工計画書」を作成し提出する。 また各種別の工事の施工にあたっては「工種別施工計画書」を作成する。 約款第11条に規定する工事履行報告書は、営繕課で示す様式「期間別工事工程報告書」で、工程写真、状況写真を添付して月2回提出する。 受注者は受注時又は変更時において請負金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき、登録(契約)、途中変更、竣工、訂正時に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督員の確認を受けた後に登録機関に登録申請し、登録機関発行の「登録内容確認書」を監督員に提出しなければならない。 なお、途中変更時の登録が必要な場合は、工期の変更、技術者の変更があった場合とする。
補 償	1. 工事中 2. 工事後	地上物件、地中埋設物等で本工事に起因して損傷した場合は、速やかに補修し、完全に復元するものとする。 工事完成引渡後、施工または機器、材料の不備による故障は、約款第41条(かし担保)により1年間受注者の負担で完全に補修するものとする。
管 理	1. 完成引渡しまでの 管理	工事完了後も予め監督員の指示した日時までは受注者で管理し、各種公課に対する料金及び各種の被害(火災、盗難、破損等)は一切受注者の負担とする。
材 機 器 及 び	1. 主要資材購入先名 簿の届出 2. 機器の取扱い等	本工事の施工に際して、資材を購入する場合は、極力広島県内に主たる営業所を有する業者に発注するものとする。 また主要資材を購入しようとするときは、あらかじめ購入先の名称・所在地及び資材名等を発注者に通知するものとする。 標準仕様書の機材の検査に伴う試験に該当する機器については調査とあわせて、機器の構造及び取扱い方法ならびに管理上の要点を管理者側に十分説明する。
記 録	1. 完成時の提出書類等 「明記なき書類は発注 主体工事による」 ※ 建築に準ずる	(イ) 工事竣工図書引渡し書 A4版 部 (ロ) 完成図書(A4版 黒表紙金文字製本) 部 (ハ) 諸官庁届出書類一覧表 部 諸官庁届出書類(正) 手続書類、許可書(正) 共 (ニ) 完成原因(原設計原因修正(特記仕様書含む))・施工原図 A 版 部 (ホ) 縮小第2原図(完成・施工原図) 部 (ヘ) 完成図面・施工図面二折製本 部 (ト) 縮小第二原図による完成図面・施工図面二折製本 部 (チ) 工事記録写真 A4版(工事記録写真カラーサービス版) 部 (竣工写真カラーサービス版) 部 (リ) 工事概要調書 A4版 部 (ヌ) 運転操作説明書 取扱説明書 A4版製本 部 (ル) 展開接続図 主として電気計装設備工事に適用 A3版製本 部 (ヲ) 保全管理台帳A4版 ・設備台帳 A4版 部 (ワ) MO又はCDR(CADにより作成した完成図、施工図) 部 (カ) 出来形管理図 部 (ヨ) 工事監理図書 A4版 部 (タ) 竣工時の屋外配置図(各種配管、配線が記載された図面) A2版 部 (レ) 電子成果品(電子納品) 部
	2. 工事に関する写真	(イ) 工程写真 工事の進行に伴い主要工程の写真(カラーサービス版) (ロ) 工事記録写真 地中、コンクリートその他建設中に埋設又は隠蔽され、完成後外部から検査又は確認することが困難な部分、各種試験状況、その他監督員の指示する箇所は写真(カラーサービス版)にまとめて提出する。 (ハ) 竣工写真 主要機器の取付箇所、その他監督員の指示する箇所は写真(カラーサービス版)にまとめて提出する。

<p>工事妨害に対する処置</p>	<p>暴力団からの不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）の排除について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 暴力団等から不当介入を受けた場合は、その旨を直ちに発注者に報告し、所轄の警察署に届け出ること。 2. 発注者及び所轄の警察署と協力して不当介入の排除対策を講じること。 3. 排除対策を講じたにもかかわらず、工期に遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と工程に関する協議を行うこと。 4. 発注者と工程に関する協議を行った結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、約款第 2 1 条の規定により、発注者に工期延長の請求を行うこと。 5. 暴力団等から不当介入による被害を受けた場合は、その旨を直ちに報告し、被害届を速やかに所轄の警察署に提出すること。 6. 当該被害により、工期の遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と工程に関する協議を行うこと。その結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、約款第 2 1 条の規定により、発注者に工期延長の請求を行うこと。 <p>この請求には被害届受理証明書を添付すること。</p>
-------------------	--


2. 特記仕様

- 2) 特記事項のうち選択する事項は、○の付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。

● 印 ⊗ 印の場合は両方を適用する。

区 分	項 目	特 記 事 項
一 般 共 通 事 項	1. 電子納品	電子成果品を「広島県電子納品実施要領【営繕工事編】最新版」に基づき作成する。 （イ）工事管理ファイル（ロ）完成図・施行図（ハ）完成写真（ニ）保全に関する資料（協議）（ホ）発生材関係資料（協議） ※電子納品対象データは同要領に基づくが、変更がある場合は監督員との協議で決定する。
	2. 機 材	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定する所要の品質・性能を有するもの又は、これらと同等以上のものとする。 また、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づき策定された「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するよう努めるものとする。
	3. 監督員事務所	※ 設けない ・ 設ける（ 号） m ² 程度
	4. 工事用電力、水 その他	本工事に必要な工事用電力、水などの費用は受注者の負担とする。 官公庁への諸手続きなどの費用は受注者の負担とする。
	5. 工事現場の表示	現場の見やすい位置に監督員が指示する次の表示板を設置する。 ※ 工事名等の表示板（900mm×600mm） ・ 工事概要等の説明看板（900mm×600mm） 構内に作ることが ・ 出来る ・ 出来ない
	6. 工事用仮設物	作業期間、交通誘導員を （人／日）配置すること。
	7. 交通誘導員	イ）埋戻し土は ※ 根切り土の中の良質土（ヒューム管以外の管の周囲は山砂の類） ・ 山砂の類
	8. 土工事	ロ）建設発生土は ※ 場外指示の場所に処分 ・ 場外搬出適切処理 ・ 場内指示の場所に敷き均し ・ 場内指示の場所に堆積 ・ 当該工事により発生する建設発生土は、次の公の関与する埋立地に搬出するものとする。 （1）搬出場所 ※当該工事により発生する発生土は、「建設発生土処分一覧表」に掲載されている施設のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費受入費（平日の受入費用）の合計が、最も経済的になる建設リサイクルプラント又は建設発生土受入れ地（一時堆積も含む）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用は変更しない。なお、工事後明らかになったやむを得ない事情により、上記の仕様により難しい場合は、監督員と協議するものとする。
	9. 発生材の処理及び 産業廃棄物の処理	引渡しを要するもの ※ 無し ・ 有り（ ・ 機器類 ・ 配管類 ・ ） 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ・ 有り（ ・ ） 再生资源の利用を図るもの ※ 無し ・ 有り（ ・ ） イ）本工事で発生した建設廃棄物は、広島県（環境県民局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設（許可対象とならない中間処理施設にあっては、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設）で処理すること。ただし、建設廃棄物が、破碎等（選別を含む）により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。（原則、県内処分） ロ）本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前記イ）に掲げる施設のうち受入れ条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。 ハ）本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので、適正に処理すること。なお、本工事では、広島県産業廃棄物埋立税相当額を見込んでいる。
	10. 総合調整	下記項目の総合調整を行い測定表を監督員に提出する。（ 部） ・ 風量調整 ◎ 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度の測定 ・ 騒音の測定 ・ 振動の測定 ・ 室内の気流及び塵埃の測定 ・ 浄化槽の放流水水質 ・ 飲料水の水質の測定（１６項目） 測定箇所等は監督員との協議による。
	1 1. 説明板等	・ 説明書（監督員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の取扱要領を記載した説明書等を作成する。） ・ 説明板（監督員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の系統図、取扱要領を記載した説明板を作成する。）
	1 2. 技能士の適用	・ 配管施工（建築配管作業） ・ 熱絶縁施工 ・ 冷凍、空調調和機器施工 ・ 建築板金技能士
	1 3. 図形表示	機器類は、図示する形状及び配管等の取りだし位置により、特定製造者の特定の製品を指示、限定しない。
	1 4. 電気容量及び機器表示	イ）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された値以下とする。 ロ）機器類の能力、容量等は原則として表示された値以上とする。

15. 負担金等 (消費税抜き)	・ 給水引込負担金 (加入金及び納付金等を含む) (・ 本工事 ・ 別途) 円 ・ 下水道等接続負担金 (・ 本工事 ・ 別途) 円 ・ (・ 本工事 ・ 別途) 円
16. 電線・電線管	イ) EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハゲツ及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編1. 5. 1による。 ロ) 電線の色別は、原則として標準仕様書(電気設備工事編)(平成22年版)による。 ハ) 合成樹脂製可撓管を使用する場合は、PFI重管とする。 ニ) ケーブルの接続は湿気の無い盤内端子渡しとし、湿気の有る槽内でのケーブル接続は基本として行わない。 標準仕様書によるほか下記による。 ・ 警報点数が2以上有る場合は追警報の回路とする。 ・ 運転ブロック図に適合するものとする。 ・ ボイラー及び冷温水機等の附属盤の始動スイッチ二次側に、煤煙濃度計用の電源端子を設ける。 接点及び端子は、標準仕様書を ※ 適用する ・ 機器表特記による イ) バックアップの制御及び操作盤は標準仕様書を ※ 適用しない ・ 機器表特記による
17. 機器付属の制御盤	※ 標準仕様書を適用するほか、下記の部分を除き原則塗装を行う。 埋設されるもの(ただし、防食塗装部分を除く) 亜鉛めっき以外のめっき仕上げ面 亜鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分 亜鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類 樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分 特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面 アルミニウム、ステンレス、銅、熔融アルミニウム亜鉛鉄板、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面 カラー亜鉛鉄板面 ・ 下記の設備室等の亜鉛メッキを施した配管、ダクト及び支持金物、ダクト構成部材の塗装は行わない。(配管ネジ接合部、鋼材類等の錆止め塗装を除く) (・ 機械室 ・ 電気室 ・ 倉庫、書庫 ・ PS、DS ・)
18. 塗装	標準仕様書によるほか下記を適用する。 イ) 暖房熱源機器室内の配管の保温材で、ポリスチレンフォーム保温材とあるものは同じ施工種別のロックウールまたはグラスウール保温材を使用する。 ロ) 屋内露出 (・ 機械室 ・ 書庫 ・ 倉庫 ・ 管廊) の配管、ダクトの保温は「屋内露出(一般居室、廊下)仕上げ」に読替える。 ハ) 断熱材被覆銅管による冷媒管の保温外装は 屋内露出 ・ 保温化粧ケース(※ 耐候処方樹脂製 ・) ・ 合成樹脂製カバー ・ 屋外露出 ・ ステンレス鋼板巻き(冷媒管に断熱材被覆銅管を使用する時は整形用としてグラスウールを使用する。) ・ 保温化粧ケース(・ 耐候処方樹脂製 ・ アルミ合金製 ・ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製) ニ) 共同溝の保温種別 ・ ホ) 全熱交換器用の 給気ダクト (・ 外気側 ・ 室内側) は保温(25mm厚)する 排気ダクト (・ 外気側壁面より m) は保温(25mm厚)する ヘ) 厨房用排気ダクトの断熱(隠蔽部) ・ h (イ) X ・ 行わない ※ 合成ゴム製(球形) ・ ベローズ製(スリム) ・ ポリテトラフルオロエチレン樹脂製 ※ ベローズ形 ・ スリーブ形
19. 保温	イ) ステンレス管に使用するバルブは50A以下は青銅製、65A以上はステンレス製を使用する。 ロ) 給水、給湯に使用するバルブ、水栓類は鉛レスの鉛水質基準適合品を使用する。 標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。舗装部分は ※ 鉄製 ・ コンクリート製 屋外配管の埋戻し時は埋設表示テープを布設する。 既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成にならない補修する。 イ) ホンツ及び屋外設置機器のアンカボルト、ナットはステンレス製(SUS304)とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製(SUS304)又は、溶融亜鉛めっき仕上げとする。 溶融亜鉛めっきは(※ 2種35 ・ 2種50) ロ) ビット内に使用する支持金物等はステンレス製(SUS304)とする。 (・ 給水 ・ ガス ・ 油) 配管の変位吸収は標準図 施工4、5 とし設置場所は図示による。 標準図 施工3による。設置場所は図示による。 コア内蔵型を使用する。 標準仕様書第2編第2章第2節による。 渦巻きポンプの機器表に特記無き電動機の極数は、4極以上とする。
20. 防振継手	
21. 伸縮継手	
22. 弁 類	
23. 埋設表示	
24. はつり工事	
25. 補修など	
26. 支持金物、固定金具	
27. 配管の建物導入部	
28. 異種管の接続	
29. 管端防食継手	
30. 配管附属品	
31. ポンプの電動機	

	 一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号 佐伯建築設計事務所	一級建築士 建設大臣 第223265号 佐 伯 晃 志 郎	・構造設計 ・設備設計	工事名称 布野運動公園トイレ改修工事	図面名称 機械設備 特記仕様書(2)	縮尺
--	---	----------------------------------	----------------	-----------------------	-----------------------	----

● 給 水 設 備	<p>1. 量水器</p> <p>2. 量水器柵</p> <p>③ 配管材料</p> <p>※重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>4. 弁類</p> <p>⑤ 保温</p> <p>6. 定水位調整弁</p> <p>7. 水栓柱</p> <p>⑧ 水栓</p> <p>9. FRP製タンクのマンホール</p>	<p>イ) 親メーター ※ 買取り ・ 借用</p> <p>ロ) 子メーター ※ 買取り ・ 借用</p> <p>イ) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材53)</p> <p>ロ) 子メーター用 ※ 標準図(機材53) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>イ) 一般配管用 ※ 塩ビライニング鋼管(SGP-VB) (SGP-FVB)</p> <p>・ ポリ粉体鋼管(SGP-PA) (SGP-FPA)</p> <p>・ ステンレス鋼管(SUS304) ・ ステンレス鋼管(SUS316)</p> <p>・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)</p> <p>・</p> <p>ロ) 土間配管用 ※ 塩ビライニング鋼管(SGP-VD) (SGP-FVD)</p> <p>・ ポリ粉体鋼管(SGP-PD) (SGP-FPD)</p> <p>・ ステンレス鋼管(SUS304) ・ ステンレス鋼管(SUS316)</p> <p>○ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)</p> <p>・</p> <p>ハ) 屋外土中用 ※ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)</p> <p>・ 塩ビライニング鋼管(SGP-VD) (SGP-FVD)</p> <p>・ ポリ粉体鋼管(SGP-PD) (SGP-FPD)</p> <p>・ 水道用ポリエチレン二層管(50A以下), 水道用ポリエチレン管(75~150A)</p> <p>・ ステンレス鋼管(SUS304) ・ ステンレス鋼管(SUS316)</p> <p>・</p> <p>ニ) ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ・ ゴム輪接合</p> <p>ホ) 塩ビ管の接合方法 50A以下 ・ 融着継手 ・ 金属製継手 75A以上融着継手</p> <p>ヘ) ゴム輪接合の場合、直管以外の継手部には離脱防止金具付とする。</p> <p>ト) 特記なき給水管の最小口径は20Aとする。</p> <p>チ) ステンレス鋼管を使用する場合は下記の水質の確認を行う。</p> <p>電気伝導率, Mアルカリ度, カルシウムイオン, マグネシウムイオン, 全硬度, 重炭酸イオン遊離炭酸, 塩素イオン, シリカ, 蒸発残留物</p> <p>イ) 公営水道に直結する配管に使用するものは, JIS又はJV5(10K)とする。</p> <p>ロ) 高置タンク以降の配管に使用するものは, JIS又はJV5(5K)とする。ただし, 特記部分は(10K)とする。</p> <p>ハ) 給水引込み部の ・ 止水栓 ・ 弁柵 は水道事業者の指定品とする。</p> <p>鋼板製, ステンレス製タンクの保温 ・ 施工する ・ 施工しない</p> <p>・ 共通仕様書による(附属品を含む) ・ 水道事業者指定品</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ 人造石とぎ出し製 ・ アルミニウム合金製</p> <p>イ) 屋外の水栓は ・ キー式ハンドル ・ 一般水栓</p> <p>ロ) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>FRP製及びステンレス製水槽(保温形)は, マンホールも保温形とする。</p>
● 排 水 設 備	<p>① 配管材料</p> <p>※重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>2. グリース阻集器</p>	<p>イ) 屋内汚水管 ※ 硬質塩化ビニル管(VP) ・ 耐火二層硬質塩化ビニル管(VP)</p> <p>・ 排水用鑄鉄管</p> <p>(・ メカニカル形1種管 ・ メカニカル形2種管 ・ 差込み形RJ管)</p> <p>・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 鉛管</p> <p>・ コーティング鋼管(・ ノンタールエポキシ ・ 塩化ビニル)</p> <p>・ 建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管(RF-VP)</p> <p>・</p> <p>ロ) 屋内雑排水管 ※ 硬質塩化ビニル管(VP) ・ 耐火二層硬質塩化ビニル管(VP)</p> <p>・ 配管用炭素鋼管(白管) ・ 鉛管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>・ コーティング鋼管(・ ノンタールエポキシ ・ 塩化ビニル)</p> <p>・ 建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管(RF-VP)</p> <p>・</p> <p>ハ) 通気管 ※ 硬質塩化ビニル管(VP) ・ 耐火二層硬質塩化ビニル管(VP)</p> <p>・ 配管用炭素鋼管(白管) ・ 排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>・ 建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管(RF-VP)</p> <p>・</p> <p>ニ) 屋外排水管 ※ 硬質塩化ビニル管(VU) ・ 硬質塩化ビニル管(VP)</p> <p>・ コンクリート管(外圧1種B形)</p> <p>・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)</p> <p>・ 排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU)</p> <p>・ 下水道用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管(RS-VU)</p> <p>・</p> <p>※ 工場製作品(・ SUS製 ・ 鑄鉄製 ・ FRP製) ・ 現場施工品</p> <p>・ 耐火被覆 ・ 標準図(施工65(a))を施工する。 ・ 施工しない</p>

衛生設備

区 分	項 目	特 記 事 項
● 衛生器具設備	①. 大便器・小便器 ②. 小便器用洗浄水節水装置 ③. 自動水栓 ④. 和風大便器の耐火処理	陶製注意板の取付は ・ 取付ける (・ 自動洗浄の小便器は除く) ・ 取付けない ※ 個別感知方式 (電源供給方式 ※ AC100V ・ 乾電池 ・ 流水発電形) 工事範囲は、電気一次側配管配線を除きすべて本工事とする。 電源供給方式 ※ AC100V ・ 乾電池 ・ 流水発電形 標準図 (施工65(b)) の ※ (2) ・ (1)
	⑤. 衛生器具と排水管接続	※ 標準図 (施行63) ※ 標準図 (施行64)

出图 2024 10 17 14: 54

空調調和設備

区分

項目

特記事項

○空気調和設備・換気設備

1. 設計用温湿度条件

	外気条件		室内（調整目標値）			
			一般系統			
	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）
夏季	35.0℃	51%	28.0℃	50%	℃	%
冬季	0.1℃	71.5%	19.0℃	40%	℃	%

2. 配管材料

(1) 冷水・温水・冷温水管

※ 配管用炭素鋼鋼管（白管）
・ 一般配管用ステンレス鋼管（SUS304）

(2) ドレン管

・ 配管用炭素鋼鋼管（白管）※ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP）

(3) 冷却水管

・ 配管用炭素鋼鋼管（白管）
・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VA）
・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（SGP-PA）

(4) 膨張・空気抜・補給水管

※ 配管用炭素鋼鋼管（白管）
・ 一般配管用ステンレス鋼管（SUS304）

(5) 空調用給水管

※ 一般配管用ステンレス鋼管（SUS304）
・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VA）
・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（SGP-PA）

(6) 蒸気給気管

※ 配管用炭素鋼鋼管（黒管）

(7) 蒸気還水管

※ 圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG370 黒sch40）

(8) 油・油用通気管

※ 配管用炭素鋼鋼管（黒管）

(9) 冷媒管

※ 断熱材被覆鋼管
・ 銅及び銅合金の継ぎ目無管

3. 弁類

図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。

4. 鋼板製煙道

(1) 厚さ

※ 3.2mm
・ 4.5mm

(2) 煤煙濃度計

・ 取付ける
・ 取付けない
・ 取付座を取付ける

(3) 煤塵量測定口（80φ×2）を

※ 取付ける
・ 取付けない

標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。

※ 冷温水管の接続部（往・還）にはボール弁を取り付ける。

※ 流量調節弁
・ 定流量弁
・ 三方弁 を取付ける。

（定流量弁は
・ ダイワム式流量可変式
・ カトリッジ 形）

※ 床置形にはサブドレンパンを設けるものとし、材料等はドレンパンに準ずる。

インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。

5. 冷却塔

標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。

6. ファンコイルユニット

※ 冷温水管の接続部（往・還）にはボール弁を取り付ける。

※ 流量調節弁
・ 定流量弁
・ 三方弁 を取付ける。

（定流量弁は
・ ダイワム式流量可変式
・ カトリッジ 形）

※ 床置形にはサブドレンパンを設けるものとし、材料等はドレンパンに準ずる。

インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。

7. パッケージ空調機の能力表示

インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。

8. 地下オイルタンク

(1) 据付け方法（標準図）は

・ 地下オイルタンク据付け図（施工31）

※ 鋼製強化プラスチック製二重殻タンク据付け図（施工30）

(2) タンクの保護被覆は

・ エポキシ樹脂
※ 強化プラスチック
・ アスファルト

(3) 遠隔油量指示装置（油面計は（
・ 抵抗変化式
・ 磁歪式）で（
・ 室内
・ 室外）より油量監視用）を取付ける。

油面計はゲージ式（側圧式）とする。

(1) ※ 低圧ダクト
・ 高圧1ダクト
・ 高圧2ダクト

(2) 長方形ダクトは
・ アングルフランジ工法
※ コーナーボルト工法（
・ 共板工法
・ スライドフランジ工法）
（厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。）

(3) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。

(4) 厨房用ダクトの板厚
長方形ダクトの場合
(単位mm)

ダクトの長辺	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
450以下	0.5以上	0.6以上
450を越え1,200以下	0.6以上	0.8以上
1,200を越え1,800以下	0.8以上	1.0以上
1,800を越えるもの	0.8以上	1.2以上

円形ダクトの場合
(単位mm)

円形ダクトの寸法	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
300以下	0.5以上	0.6以上
300を越え750以下	0.5以上	0.6以上
750を越え1,000以下	0.6以上	0.8以上
1,000を越え1,250以下	0.8以上	1.0以上

9. オイルサービスタンク

油面計はゲージ式（側圧式）とする。

10. ダクト

(1) ※ 低圧ダクト
・ 高圧1ダクト
・ 高圧2ダクト

(2) 長方形ダクトは
・ アングルフランジ工法
※ コーナーボルト工法（
・ 共板工法
・ スライドフランジ工法）
（厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。）

(3) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。

(4) 厨房用ダクトの板厚
長方形ダクトの場合
(単位mm)

ダクトの長辺	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
450以下	0.5以上	0.6以上
450を越え1,200以下	0.6以上	0.8以上
1,200を越え1,800以下	0.8以上	1.0以上
1,800を越えるもの	0.8以上	1.2以上

円形ダクトの場合
(単位mm)

円形ダクトの寸法	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
300以下	0.5以上	0.6以上
300を越え750以下	0.5以上	0.6以上
750を越え1,000以下	0.6以上	0.8以上
1,000を越え1,250以下	0.8以上	1.0以上

11. チャンバー等

(1) 線状吹出口には、接続チャンバー（長さ+100×300×300H）を設ける。

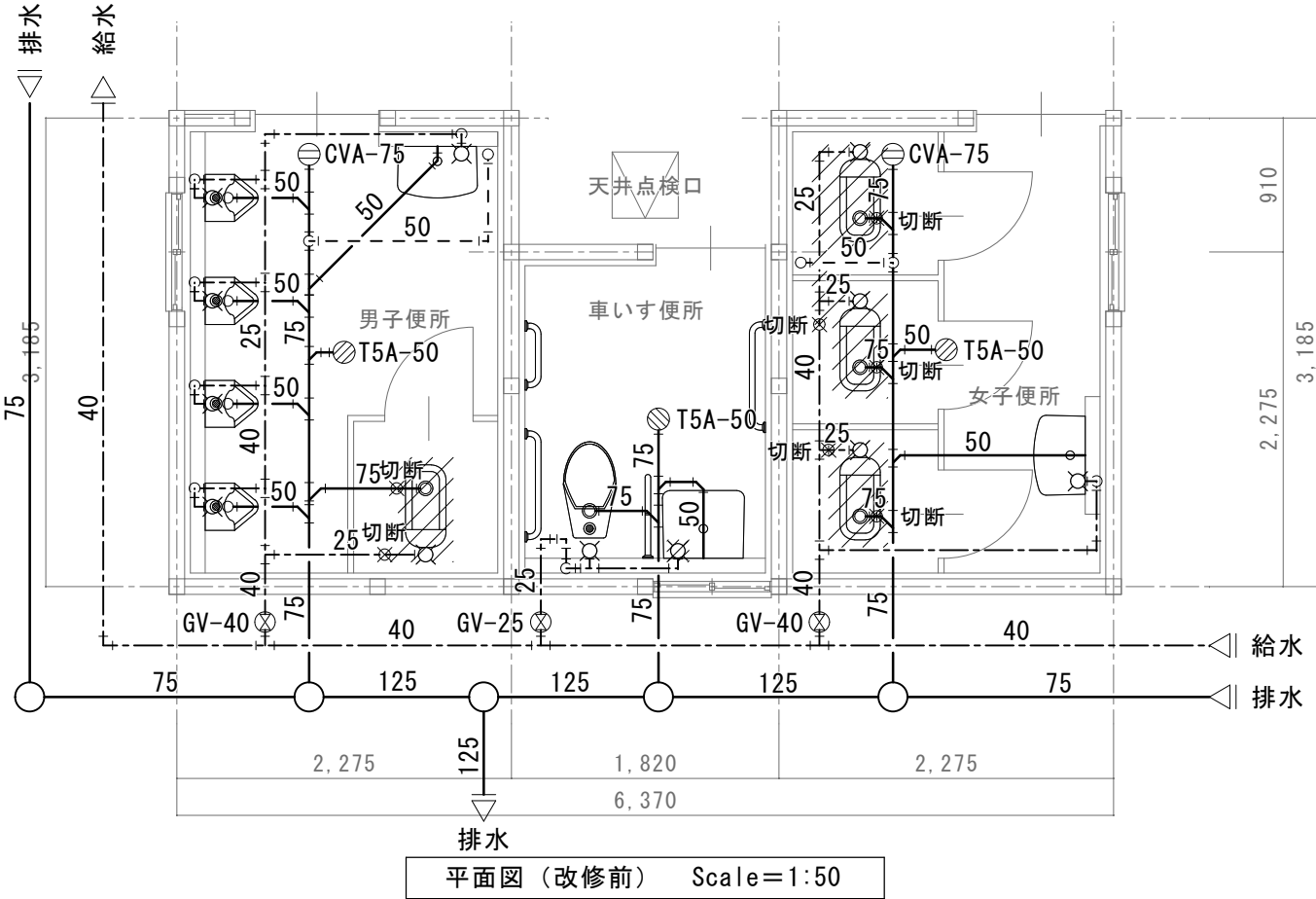
(2) シーリングディフューザーの接続は標準図（施工47）による。
施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。

(3) 外壁に面するガラリにチャンバー等を設ける場合には原則として勾配をつける。

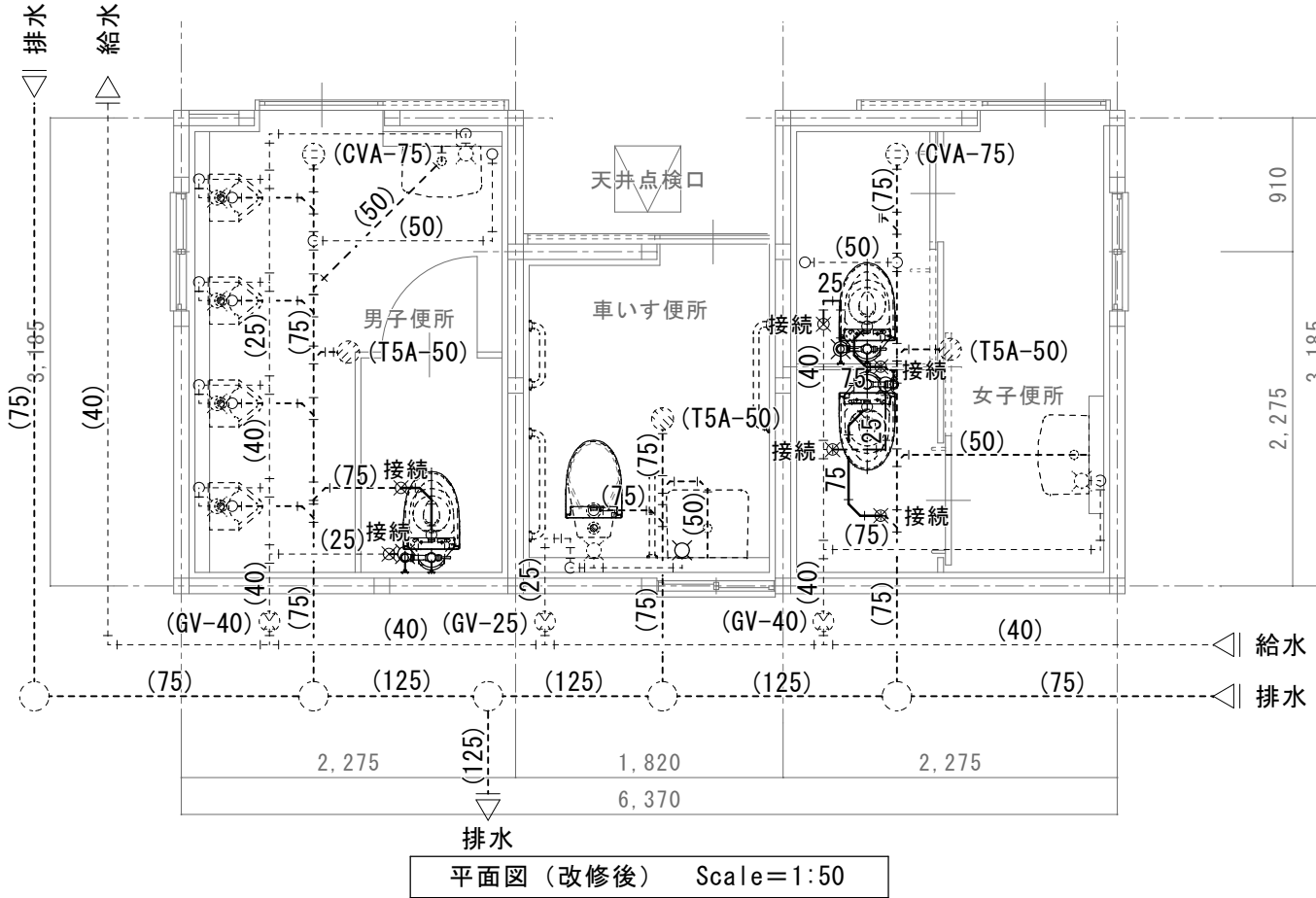
○ 空 気 調 和 設 備 ・ 換 気 設 備	12. 吹出口・吸込口	(1) アルミニウム製は塗装を ※ 行う ・ 行わない ・ 亜鉛鉄板製 (2) 吸込口GVFSは防火シャッター付吸込口を示す。 ・ グリスエクストラクター ・ グリスフィルター
	13. グリス除去装置	
	14. 風量測定口	取付け位置は図示による。 標準図によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ ユニット形空調調和機廻りの還気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト ・ ・ 機器附属品以外の温度計は ※ 工業用バイメタル式温度計 ・ ガード付きL形温度計
	15. 温度計	標準図によるほか図示した箇所に取付ける。 (1) 防火ダンパーは表示等により区分する。 (2) 防煙ダンパー 復帰方式：遠隔復帰式 (定格入力はDC24V, 0 . 7 A以下とする。) ・ メカニカル形 ・ 風速センサー形
	16. 圧力計	
	17. ダンパー	
	18. 定風量、 変風量ユニット	
	19. 冷温水管等の空気抜き	(1) 空気溜りを生ずると思われる箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置 (※ 手動 ・ 自動) を設け排水口まで配管する。 (2) 自動空気抜き弁装置は、標準図 (施工36 (g)) による
	20. 消音内貼り	(1) 空調用吹出口接続チャンバー及び図示したダクト並びにチャンバー類とする。 (2) 内貼りチャンバー類の寸法は、外法寸法とする。 (3) 吹出口接続チャンバー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を設ける。 点検口の大きさは、原則として400×600とする。 日本冷凍空調工業会 (冷凍空調機器用水質ガイドライン) による。
	21. 空調用流体の 水質基準	
○ 空 気 調 和 設 備	22. 天井吊り形FCU 及び全熱交換形 換気扇	(1) 遠方操作スイッチのフラッシュプレートは金属製 (ステンル、新金属も含む) とする。 (2) 遠方操作スイッチの渡り配管 ・ 別途工事 ・ 本工事 (3) 遠方操作スイッチの渡り配線 ・ 別途工事 ・ 本工事
	23. 瞬間流量計及び 流量測定口	(1) 形式はビトー管 (コック付) とする。 ※ 固定式 ・ 着脱式 (2) 下記の箇所、若しくは図示により取付ける ・ 冷凍機類の冷水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ 冷凍機類の冷却水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ ボイラー又は熱交換器の温水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ 冷温水ヘッダーの各送り管 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ ユニット形空調調和機の冷温水入口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング
	24. 防振吊り及び支持 金物	標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管、及び空調屋内ユニット等の吊り、及び支持は 防振吊り金物又は防振支持金物で行う。 ※ 設ける (図示した箇所に取付ける) ・ 設けない
	25. 油積算流量計	
	26. フィルターの 予備品	空調調和機器等又はフィルターチャンパーの装着枚数の100%を予備品 (枠付) として納める。 ファンコイルユニットは総台数の (・ 50% ・ 100%) に当たるフィルタ-を予備品 (枠付) として納める。 自動巻取り形及びグリースフィルターは装着単位の100%を予備品として納める。 ※ R407C, R410A又はR32 ・
	27. 冷媒ガス	
	28. 直焚吸収冷温水機	形式 煙管式又は液管式
	29. パッケージ空調機の 内外渡配線	製造業者の標準品とし、原則として冷媒管と共巻きとする。(エアコン含む)

撤 去 器 具 表					
名 称	参 考 型 番 及 付 属 品	室 名			合 計
		男子便所	車いす便所	女子便所	
和 風 大 便 器	フラッシュ弁式（給水管にヒーター取付）	1		2	3
普 通 便 座	大型（ふた付）		1		1
自 動 水 栓	単水栓（給水管にヒーター取付）		1		1

新 設 器 具 表					
名 称	参 考 型 番 及 付 属 品	室 名			合 計
		男子便所	車いす便所	女子便所	
洋 風 腰 掛 便 器	CFS494NHNS, TCF5534, YH702 (TOTO)	1		2	3
	C-P25S, CF-T7114A, CW-PA21L-NE, CF-63HST (LIXIL)				
温 水 洗 浄 便 座	TCF5534 (TOTO)		1		1
	CW-PA21L-NE (LIXIL)				
自 動 水 栓	TLE28SS1A (TOTO)		1		1
	AM-300CV1 (LIXIL)				
	※ 各給水管にヒーター取付のこと				



※ 土間はつり及び補修（仕上含）は建築工事とする



※ 土間はつり及び補修（仕上含）は建築工事とする

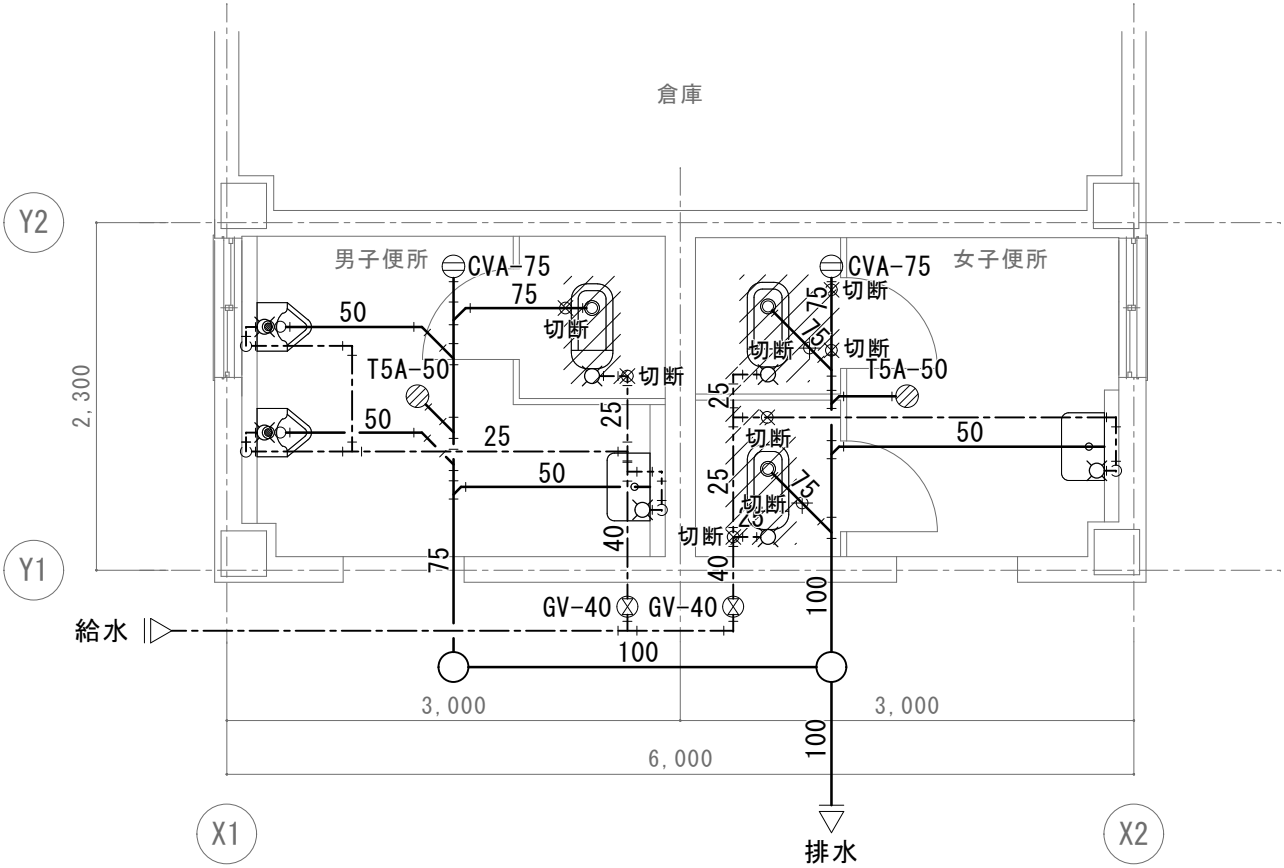
配 管 凡 例			
記 号	名 称	材 質	仕 上 他
— — —	給 水 管 図中特記なき配管径 は 2 0 m / m とする。	屋内地中： H I V P （耐衝撃性塩化ビニル管）	
		屋外地中： H I V P （耐衝撃性塩化ビニル管）	
		その他： S G P - V B （塩ビライニング鋼管）	屋外保温仕上： S U S 鋼板
— 1 —	排 水 管	屋 内： V P （塩化ビニル管）	

改 修 凡 例		
記 号	名 称	仕 様
— (○○) —	既 設	既設管、既設機器をします。
+++++	撤 去	撤去管、撤去機器をします。
— × 切断		既設配管の切断ヶ所を示す。
— × 接続		既設配管との切替ヶ所を示す。

※ 新設配管の経路は、特記なきは既存穴を使用する。
※ 既設管との接続部分は保温共更新する。

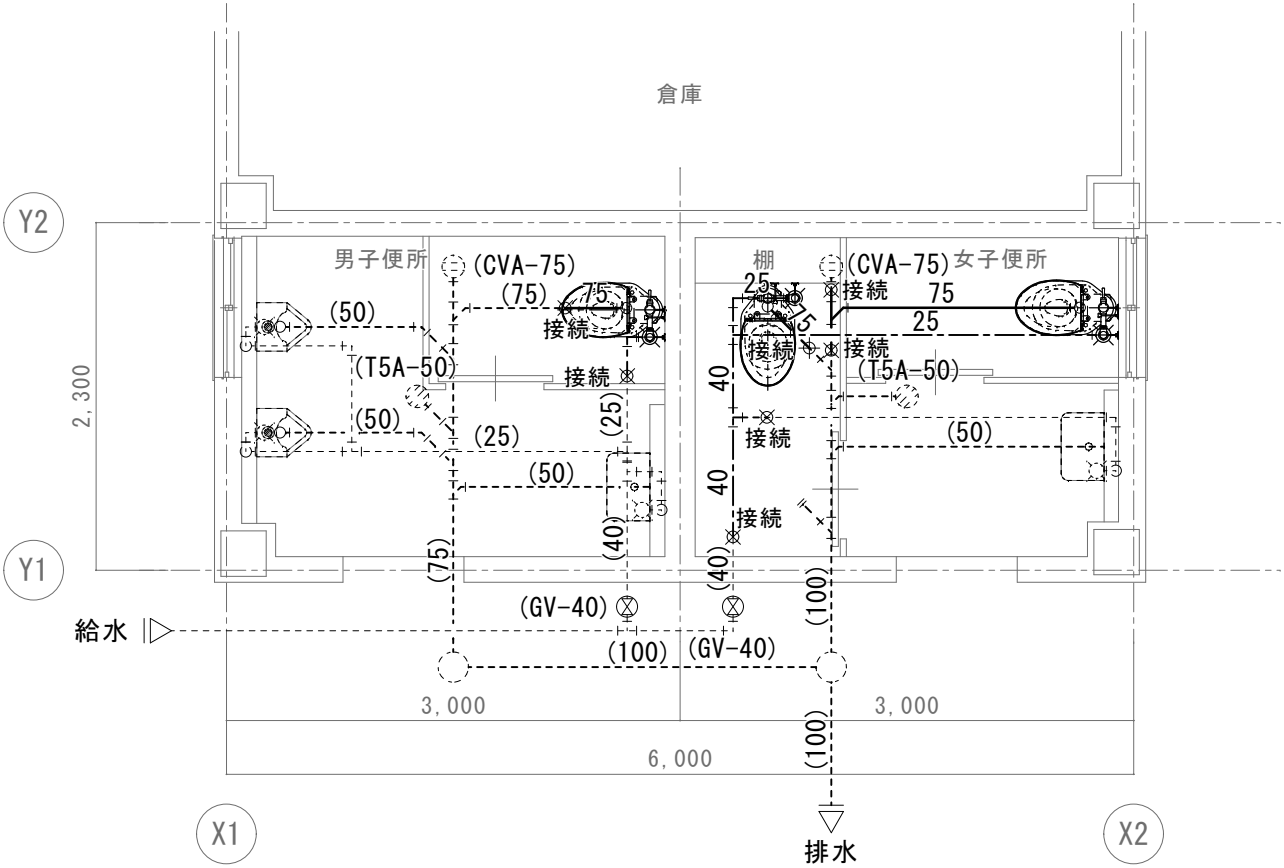
撤 去 器 具 表					
名 称	参 考 型 番 及 付 属 品	室 名			合 計
		男子便所	女子便所		
和 風 大 便 器	フラッシュ弁式（給水管にヒーター取付）	1	2		3

新 設 器 具 表					
名 称	参 考 型 番 及 付 属 品	室 名			合 計
		男子便所	女子便所		
洋 風 腰 掛 便 器	CFS494NHNS, TCF116, YH702 (TOTO)	1	2		3
	C-P25S, CF-T7114A, CF-18ALJ, CF-63HST (LIXIL)				
	※ 各給水管にヒーター取付のこと				



平面図（改修前） Scale=1:50

※ 土間はつり及び補修（仕上含）は建築工事とする



平面図（改修後） Scale=1:50

※ 土間はつり及び補修（仕上含）は建築工事とする

配 管 凡 例			
記 号	名 称	材 質	仕 上 他
— — —	給 水 管 図中特記なき配管径 は20m/mとする。	屋内地中：H I V P（耐衝撃性塩化ビニル管）	屋外保温仕上：S U S 鋼板
		屋外地中：H I V P（耐衝撃性塩化ビニル管）	
		その他：S G P - V B（塩ビライニング鋼管）	
— ㇏ —	排 水 管	屋 内：V P（塩化ビニル管）	

改 修 凡 例		
記 号	名 称	仕 様
— (○○) —	既 設	既設管、既設機器をします。
+++++	撤 去	撤去管、撤去機器をします。
— ✕ 切断		既設配管の切断ヶ所を示す。
— ✕ 接続		既設配管との切替ヶ所を示す。

※ 新設配管の経路は、特記なきは既存穴を使用する。
※ 既設管との接続部分は保温共更新する。